

VI 難病患者調査

1 難病患者調査の結果のまとめ

(1) 回答者の属性

年齢は、「40～49歳」が最も多くなっています。同居家族は、「配偶者（パートナー）」「ひとり暮らし」の順に多くなっています。

主な収入は、「ご本人の給与または資産収入」が最も多くなっています。障害者手帳は、「持っていない（手帳の存在は知っている）」が最も多くなっています。

医療機関の受診状況は、「通院している」が最も多くなっています。また、医療機関の所在地は、「他区市町村」が最も多くなっています。通院の頻度は、「2～3か月に1回程度」が最も多くなっています。

医療機関への交通手段は、「電車・バス・地下鉄」が最も多くなっています。過去3年以内の入院経験は、「過去3年以内には、入院していない」が最も多くなっています。

受けている医療処置、医療保険サービスの利用状況いずれも、「特にない」が最も多くなっています。

かかりつけ医の有無は、「持っている」が73.7%、「持っていない」が25.2%となっています。かかりつけ医を持っていない理由は、「必要と思うが見つけれない」が最も多くなっています。

(2) 福祉に関する情報や相談

福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」が最も多くなっています。

よく利用する相談窓口は、「保健所・健康相談所」「病院・診療所」の順に多くなっています。相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が最も多くなっています。不満を感じる理由は、「曜日・時間が限られている」が最も多くなっています。

(3) 介助について

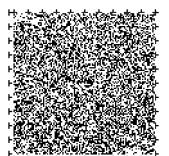
介助の必要性は、「必要でない」、主な介助者は、「配偶者（パートナー）」が最も多くなっています。主な介助者の年齢は、「40歳～64歳」が最も多くなっています。

(4) 日常生活の状況や就労状況

日常生活の状況は、「職業についている」が最も多くなっています。就労の形態は、「常勤雇用」が最も多くなっています。月収は、「20万円以上」「10万円以上20万円未満」の順に多くなっています。

今、仕事・作業をしているかたの現在の仕事・作業を見つけた方法は、「情報誌や情報サイト、チラシ、ポスター」が最も多くなっています。

仕事・作業をしていないかたのその主な理由は、「病状がよくないから」が最も多くなっています。



VI 難病患者調査

1 難病患者調査の結果のまとめ

また、希望する就労の形態は、「パート・アルバイト等の短時間就労」「特に働きたくない」の順に多くなっています。

(5) サービスの利用や今後の利用

「現在利用しているサービス」は、「自立支援医療（医療費の公費負担）」、「今後利用したいサービス」は、「移動支援」が最も多くなっています。

介護保険の認定の状況は、「要支援2」、利用している介護保険サービスは、「福祉用具レンタル・購入」が最も多くなっています。

(6) 社会参加等

近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が最も多くなっています。

地域のかたがたの障害・疾病に対する理解は、「理解を得られている」(「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」の合計)が30.7%、「理解を得られていない」(「あまり理解を得られていない」と「理解を得られていない」の合計)が58.5%となっています。

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」「各種の趣味活動」の順に多くなっています。

障害のない人との交流は、「よくある」「ほとんどない」の順に多くなっています。

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が最も多く、実施頻度は、「週に1～2日」が最も多くなっています。運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が最も多くなっています。

(7) 意思疎通の状況

コミュニケーションは、「特に困ったことはない」が最も多くなっています。

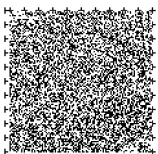
(8) 障害者の権利

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が最も多くなっています。

成年後見制度の利用意向は、「わからない」が最も多くなっています。

虐待を受けた経験は、「ない」が80.2%、「ある」が12.5%となっています。内容は、「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど（心理的虐待）」が最も多くなっています。受けたことがある虐待の相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」が最も多くなっています。相談をした相手は、「相談していない」「家族」の順に多くなっています。

障害者への差別を「感じる」(「よく感じる」と「時々感じる」の合計)が28.5%、「感じない」(「あまり感じない」と「全く感じない」の合計)は62.9%となっています。どのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」「働きたいとき、働いているとき」の順に多くなっています。



差別の相談経験は、「ない」が74.0%、「ある」が3.0%となっています。相談先は、「区の障害福祉課」が最も多くなっています。

選挙への参加状況は、「毎回行く」が最も多くなっています。選挙に行かないかたの理由は、「選挙に関心がない」が最も多くなっています。

(9) 外出の状況

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が最も多くなっています。よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が最も多くなっています。

外出時にけがをした経験は、「ない」が83.7%、「ある」が14.1%となっています。けがの理由は、「歩道などの段差」「歩道ですべって」の順に多くなっています。外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が最も多くなっています。

自宅内でけがをした経験は、「ない」が79.1%、「ある」が12.5%となっています。その場所は、「居間」「台所」の順に多くなっています。

まちのバリアフリーについての満足度は、《満足》（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）が43.6%、《不満》（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）が51.8%となっています。

(10) 防災の意識・対策

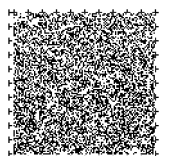
豊島区障害者防災の手引きの認知度は、「知らない」が81.0%、「知っている」が15.4%となっています。

区の防災対策の認知度は、「ヘルプカード」が24.4%と最も多くなっています。日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が最も多くなっています。具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が最も多くなっています。

災害時を想定した対応方法に対する安心感は、「やや不安である」が最も多くなっています。

(11) 豊島区の今後のありかたについて

取り組みで重要だと思うことは、「医療費の軽減等医療制度」「給付金や手当」の順に多くなっています。

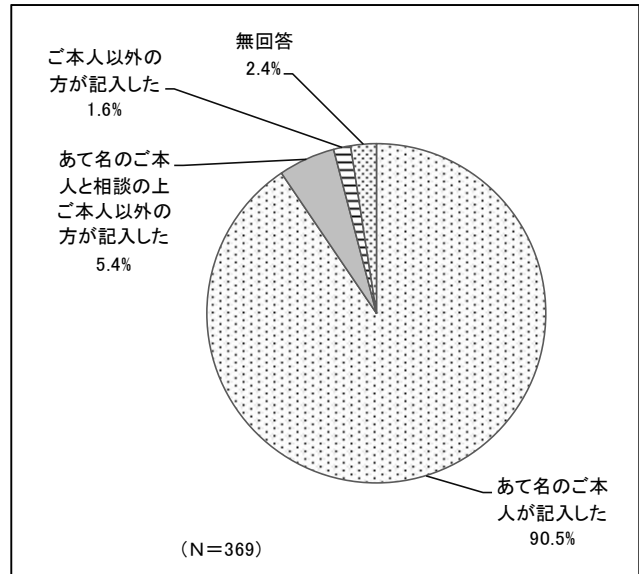


2 回答者の属性

(1) 調査票記入者

問 46 ご記入者は、調査票のあて名になっていたかたからみて、どなたにあたりますか。(○は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入した」が90.5%となっています。



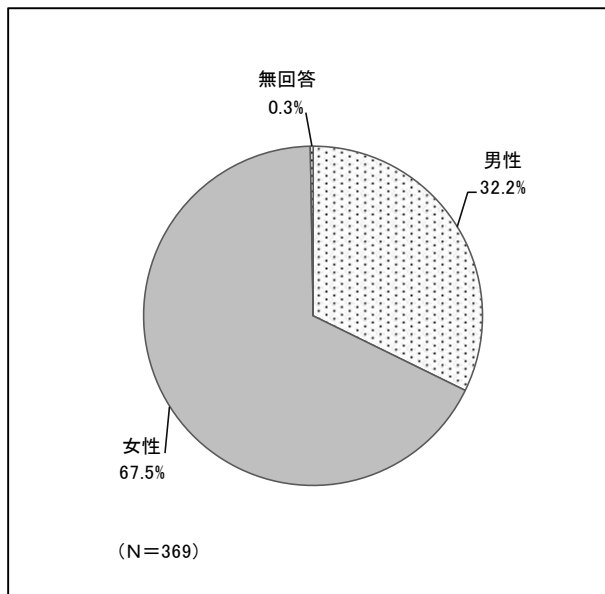
(2) 性別・年齢

問1 あなたの性別と年齢(本日の満年齢)を教えてください。

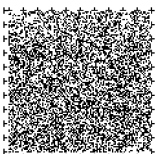
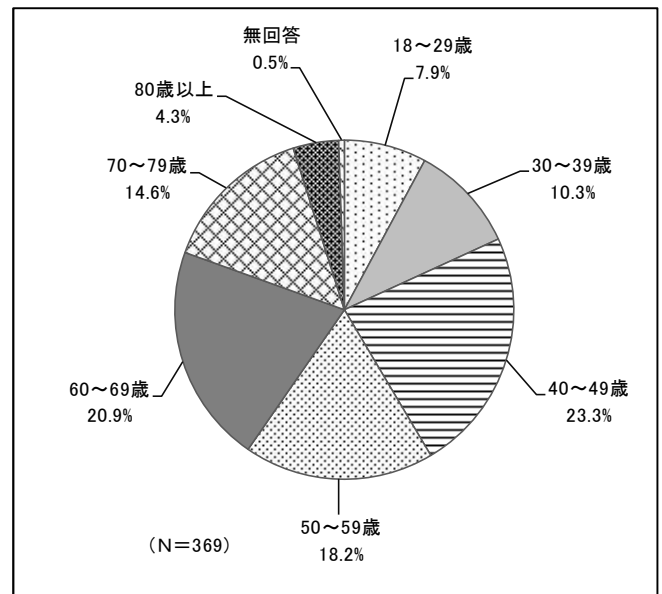
性別は、「男性」が32.2%、「女性」が67.5%となっています。

年齢は、「40~49歳」が23.3%と最も多く、次いで「60~69歳」が20.9%となっています。

<性別>



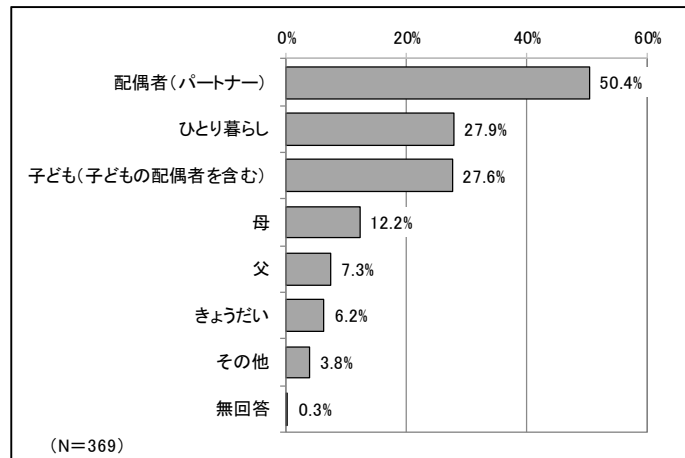
<年齢>



(3) 同居家族

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

同居家族は、「配偶者（パートナー）」が50.4%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が27.9%、「子ども(子どもの配偶者を含む)」が27.6%となっています。

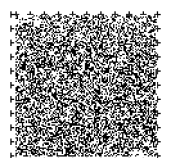
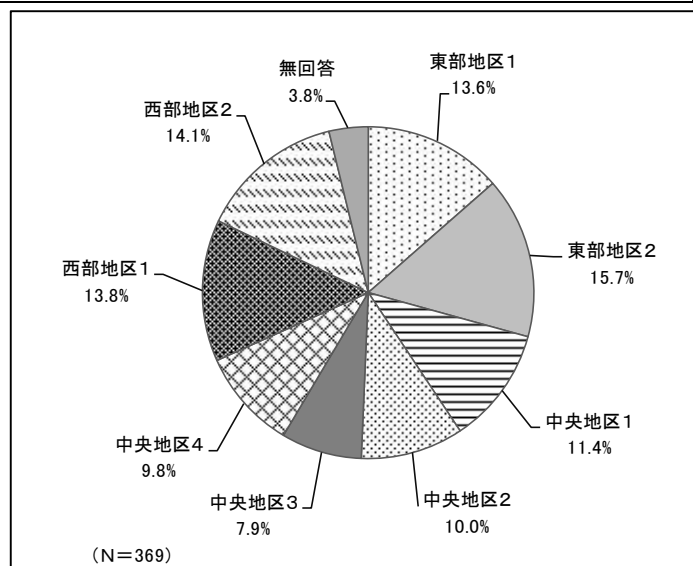


(4) 居住地区

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。

居住地区は、「東部地区2」が15.7%と最も多く、次いで「西部地区2」が14.1%となっています。

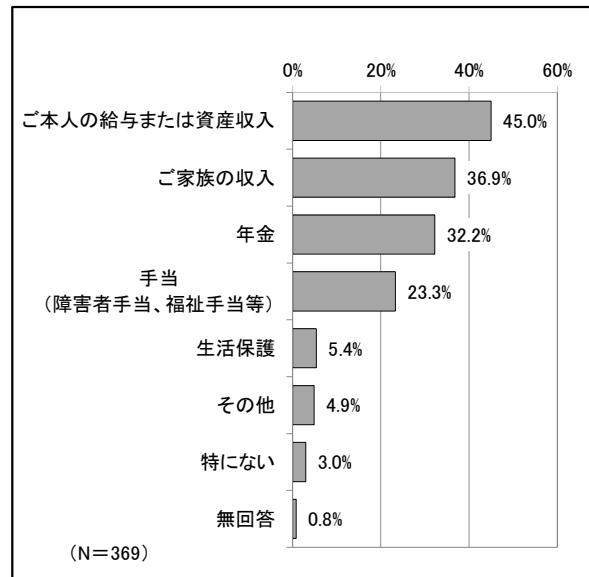
(居住地区の内訳は p. 4 を参照)



(5) 収入

問4 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

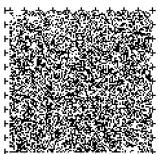
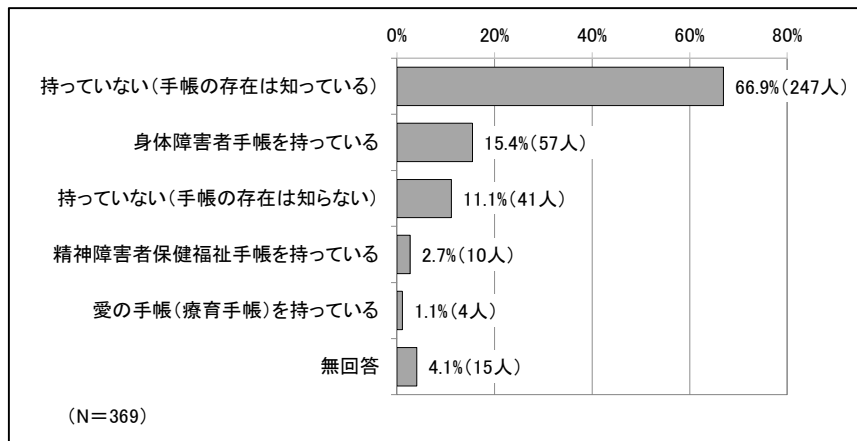
主な収入は、「ご本人の給与または資産収入」が45.0%と最も多く、次いで「ご家族の収入」が36.9%となっています。



(6) 所有している障害者手帳

問5 あなたは、障害者手帳を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

障害者手帳は、「持っていない(手帳の存在は知っている)」が66.9%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が15.4%となっています。



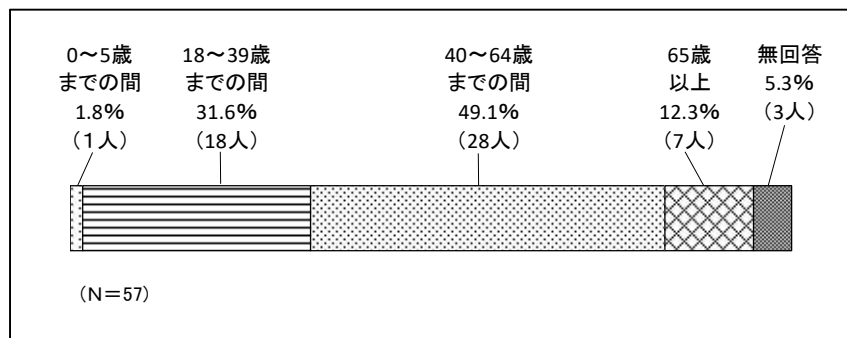
(7) 障害者手帳を取得した時の年齢

【問5で、身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳を持っているかたのみ】

問5-1 初めて手帳をとったのは何歳の時ですか。(手帳ごとに○は1つ)

①身体障害者手帳

身体障害者手帳を取得した時の年齢は、「40～64 歳までの間」が 49.1%と最も多く、次いで「18～39 歳までの間」が 31.6%となっています。



※以下は回答者 0 人のため未掲載:

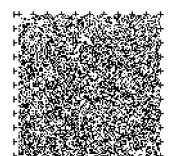
「6～17 歳までの間」

②愛の手帳(療育手帳)

愛の手帳(療育手帳)を取得した時の年齢は、4人中、「6～17 歳までの間」が2人、「18～39 歳までの間」が1人、「無回答」が1人となっています。

③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を取得した時の年齢は、10人中、「18～39 歳までの間」が5人、「40～64 歳までの間」が5人となっています。

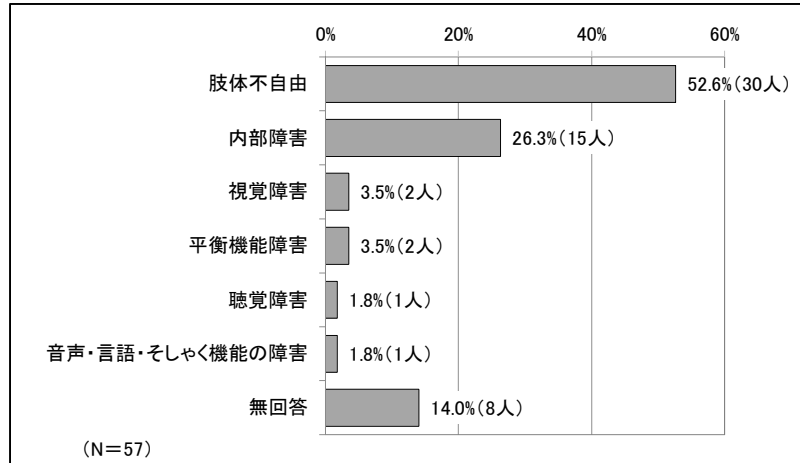


(8) 手帳の等級、程度

【問5で、身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳を持っているかたのみ】
問5-2 手帳の等級、程度を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

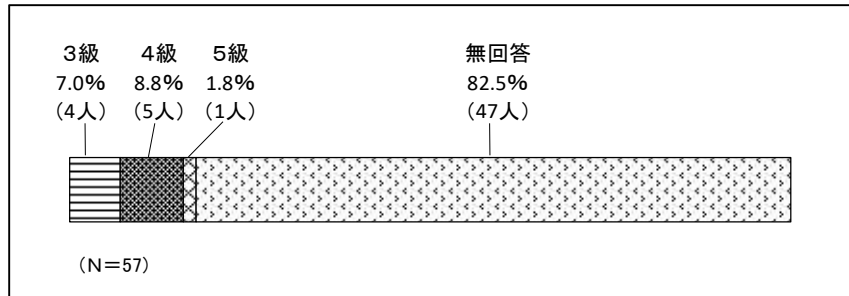
①-1 身体障害者手帳(種別)

身体障害者手帳の種別は、「肢体不自由」が52.6%と最も多くなっています。



①-2 身体障害者手帳(等級)

身体障害者手帳の等級は、「4級」が8.8%、「3級」が7.0%となっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:

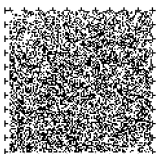
「1級」、「2級」、「6級」

②愛の手帳(療育手帳)

愛の手帳(療育手帳)の度数は、4人中、「4度」が3人、「無回答」が1人です。

③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳の等級は、10人中、「1級」が1人、「2級」が3人、「3級」が6人です。

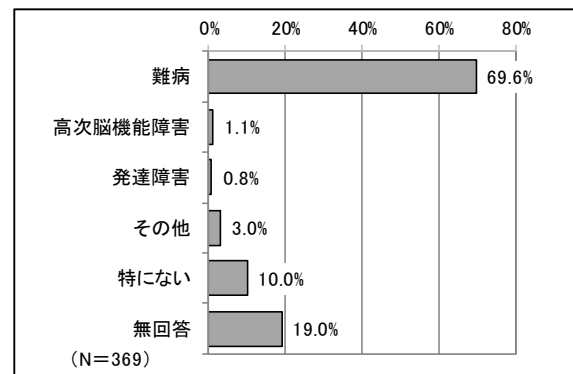


(9) 他にある障害等

問6 他に障害や病気があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

他にある障害等は、「難病」が69.6%と最も多く、次いで「特にない」が10.0%となっています。

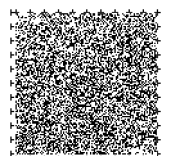
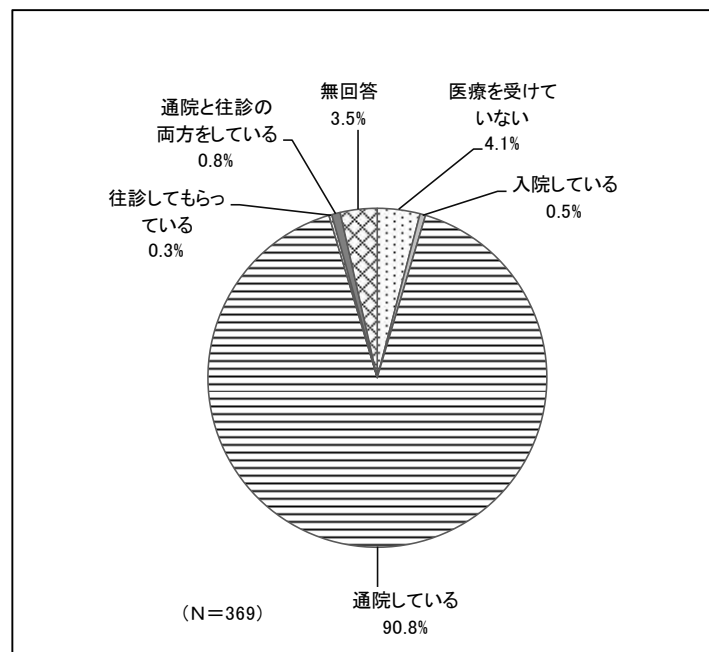
「難病」としては、全身性エリテマトーデス(SLE)、潰瘍性大腸炎、クローン病、原発性胆汁性胆管炎、シェーグレン症候群、パーキンソン病という回答がありました。



(10) 医療機関の受診状況

問7 障害や病気のために、現在、医療を受けていますか。(○は1つ)

医療機関の受診状況は、「通院している」が90.8%と最も多く、次いで「医療を受けていない」が4.1%となっています。

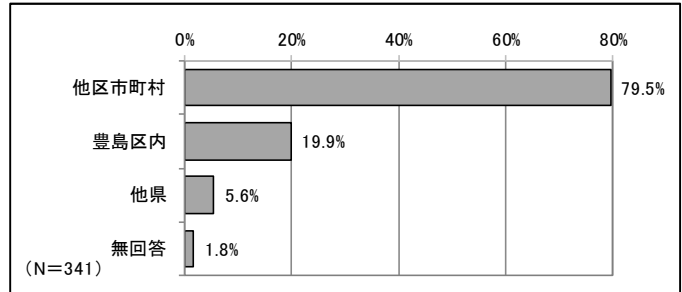


(11) 医療機関の所在地

【問7で、「入院している」「通院している」「往診してもらっている」「通院と往診の両方をしている」と回答したかたのみ】

問7-1 その医療機関はどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

医療機関の所在地は、「他区市町村」が79.5%と最も多く、次いで「豊島区内」が19.9%となっています。

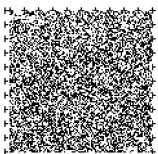
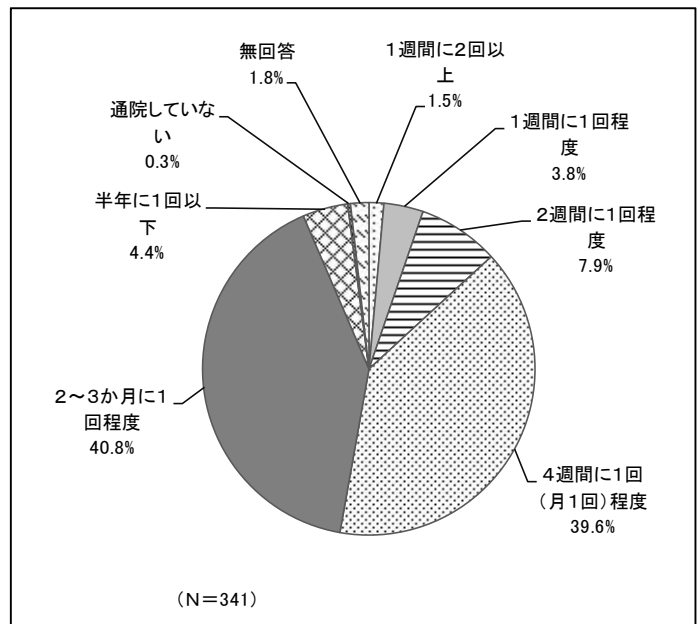


(12) 通院の頻度

【問7で、「入院している」「通院している」「往診してもらっている」「通院と往診の両方をしている」と回答したかたのみ】

問7-2 最近3か月程度の通院の頻度を教えてください。(○は1つ)

通院の頻度は、「2～3か月に1回程度」が40.8%と最も多く、次いで「4週間に1回(月1回)程度」が39.6%となっています。

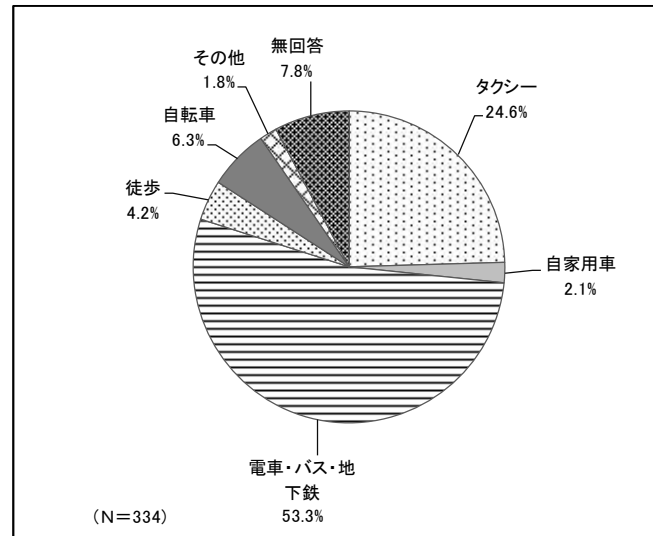


(13) 医療機関への交通手段

【問7-2で、頻度にかかわらず通院していると回答したかたのみ】

問7-3 主にどんな方法で通院していますか。(○は主なものに1つ)

医療機関への交通手段は、「電車・バス・地下鉄」が53.3%と最も多く、次いで「タクシー」が24.6%となっています。



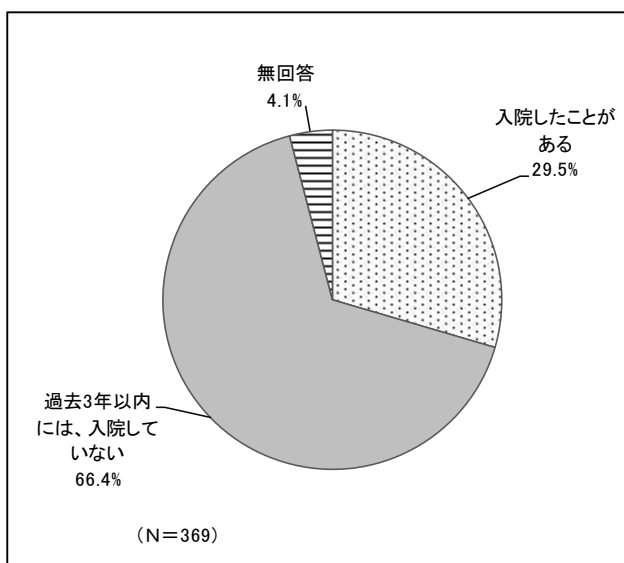
(14) 過去3年以内の入院経験

問8 難病患者福祉手当を受けている病気のために、過去3年以内に入院しましたか。(○は1つ)

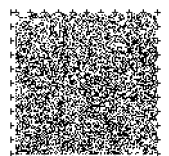
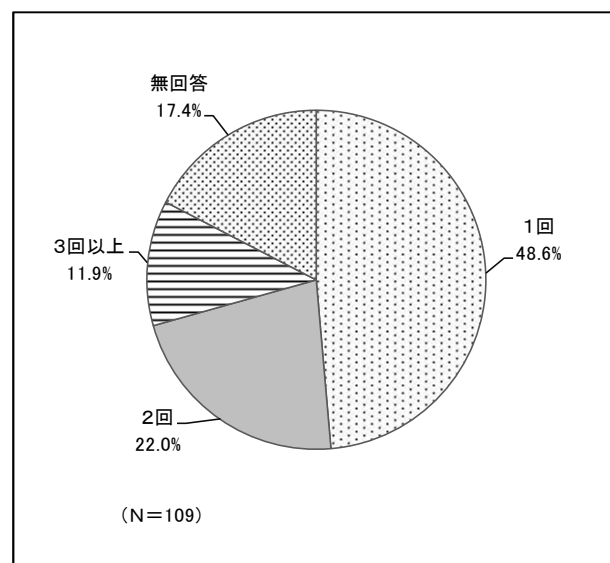
入院したことがあるかたは回数をご記入ください。

過去3年以内の入院経験は、「過去3年以内には、入院していない」が66.4%、「入院したことがある」が29.5%となっています。また、入院回数は「1回」が48.6%となっています。

入院経験



入院回数



VI 難病患者調査

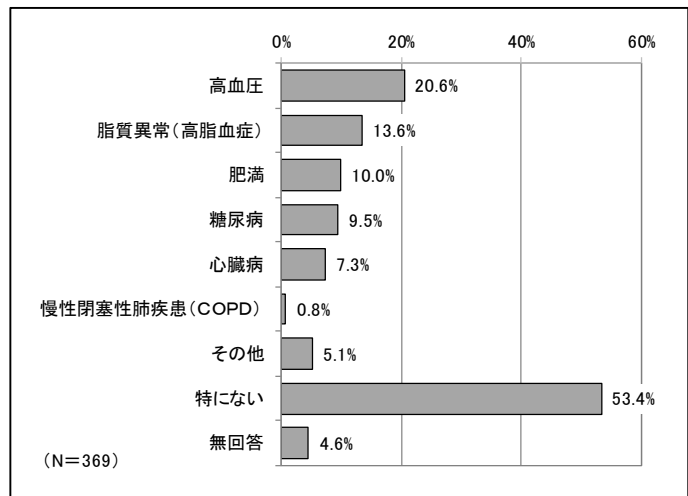
2 回答者の属性

(15) 生活習慣病について

問9 生活習慣病がありますか。(あてはまるものすべてに○)

生活習慣病は、「特にない」を除くと、「高血圧」が20.6%と最も多く、次いで「脂質異常(高脂血症)」が13.6%となっています。

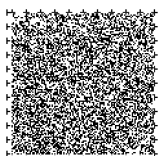
年齢別でみると、50歳代以上は「高血圧」が最も多くなっています。



【年齢別】

生活習慣病		回答者数	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性 肺疾患(CO PD)	肥満	その他	特にない	無回答
年齢											
全体	人数	369	76	50	35	27	3	37	19	197	17
	構成比		20.6%	13.6%	9.5%	7.3%	0.8%	10.0%	5.1%	53.4%	4.6%
18~29歳	人数	29	0	0	1	0	0	1	0	26	1
	構成比		0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	89.7%	3.4%
30~39歳	人数	38	2	1	0	1	0	2	0	31	2
	構成比		5.3%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	5.3%	0.0%	81.6%	5.3%
40~49歳	人数	86	8	8	1	1	0	11	0	64	2
	構成比		9.3%	9.3%	1.2%	1.2%	0.0%	12.8%	0.0%	74.4%	2.3%
50~59歳	人数	67	11	7	7	5	0	10	5	35	3
	構成比		16.4%	10.4%	10.4%	7.5%	0.0%	14.9%	7.5%	52.2%	4.5%
60~69歳	人数	77	22	20	17	9	1	12	8	23	2
	構成比		28.6%	26.0%	22.1%	11.7%	1.3%	15.6%	10.4%	29.9%	2.6%
70~79歳	人数	54	24	11	9	9	2	1	3	14	4
	構成比		44.4%	20.4%	16.7%	16.7%	3.7%	1.9%	5.6%	25.9%	7.4%
80歳以上	人数	16	9	3	0	2	0	0	3	3	2
	構成比		56.3%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	18.8%	18.8%	12.5%
無回答	人数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



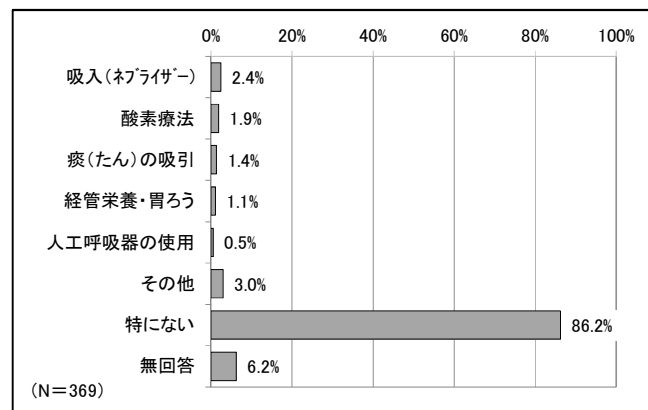
(16) 医療処置の有無

問 10 あなたは、医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

受けている医療処置は、「特にない」を除くと、「吸入(ネブライザー)」、次いで「酸素療法」の順に多くなっています。

「その他」としては、「CPAP(シーパップ)(※)」という回答がありました。

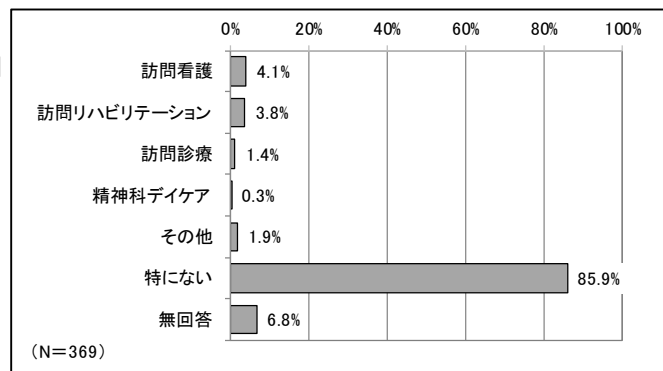
(※) 気道を広げ、睡眠時無呼吸を防止する持続陽圧呼吸療法のこと。



(17) 医療保険サービスの利用状況

問 11 あなたは、医療保険サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

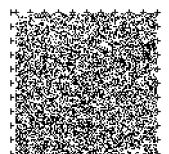
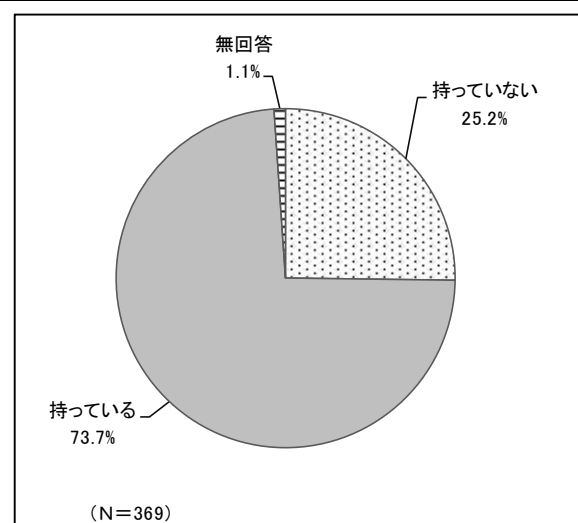
医療保険サービスの利用状況は、「特にない」を除くと、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」の順に多くなっています。



(18) かかりつけ医の有無

問 12 あなたは地域でかかりつけ医をお持ちですか。(○は1つ)

かかりつけ医の有無は、「持っている」が73.7%、「持っていない」が25.2%となっています。

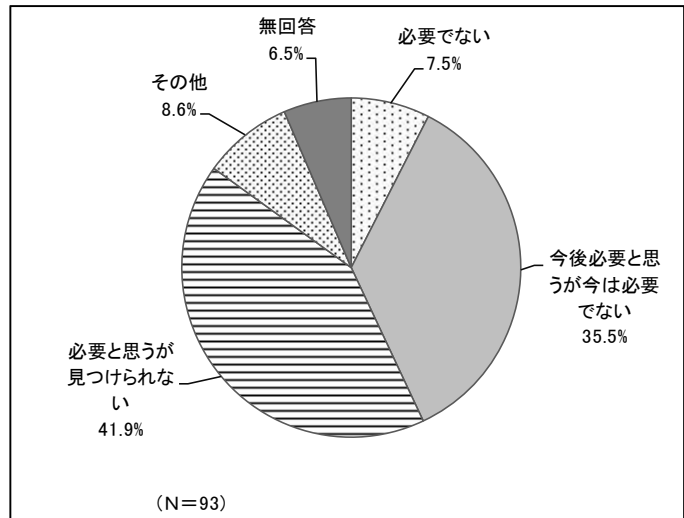


(19) かかりつけ医を持っていない理由

【問 12 で、「持っていない」と回答したかたのみ】

問 12-1 持っていない理由はなんですか。(○は1つ)

かかりつけ医を持っていない理由は、「必要と思うが見つけられない」が 41.9%と最も多く、次いで「今後必要と思うが今は必要でない」が 35.5%となっています。



3 福祉に関する情報や相談

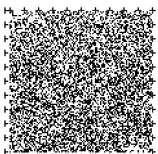
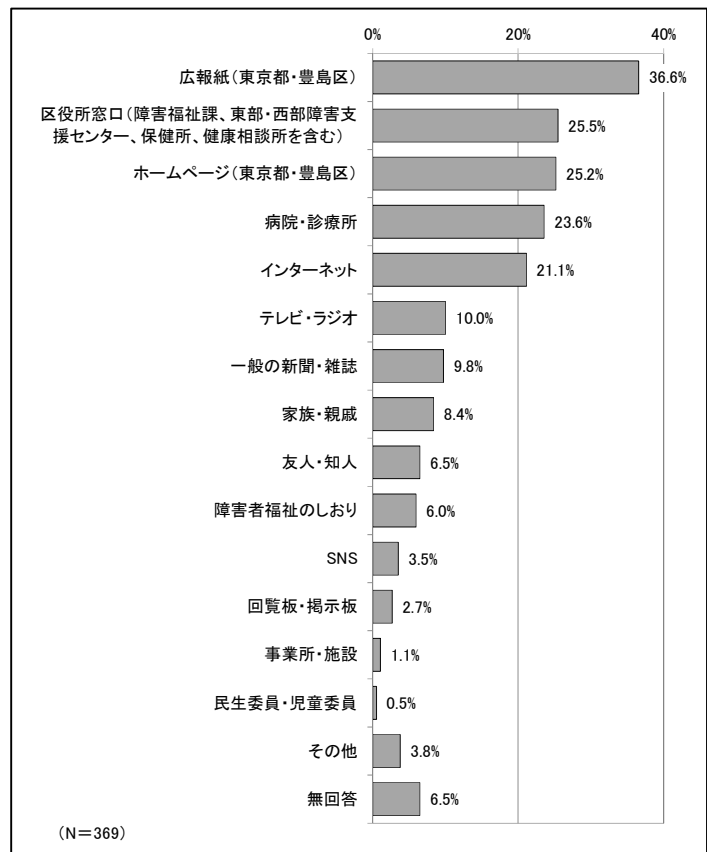
(1) 福祉に関する情報の入手手段

問 13 福祉に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで○)

「広報紙（東京都・豊島区）」が 36.6%

福祉に関する情報の入手手段は、「広報紙（東京都・豊島区）」が 36.6%と最も多く、次いで「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」が 25.5%、「ホームページ（東京都・豊島区）」が 25.2%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「学校」



(2) よく利用する相談窓口

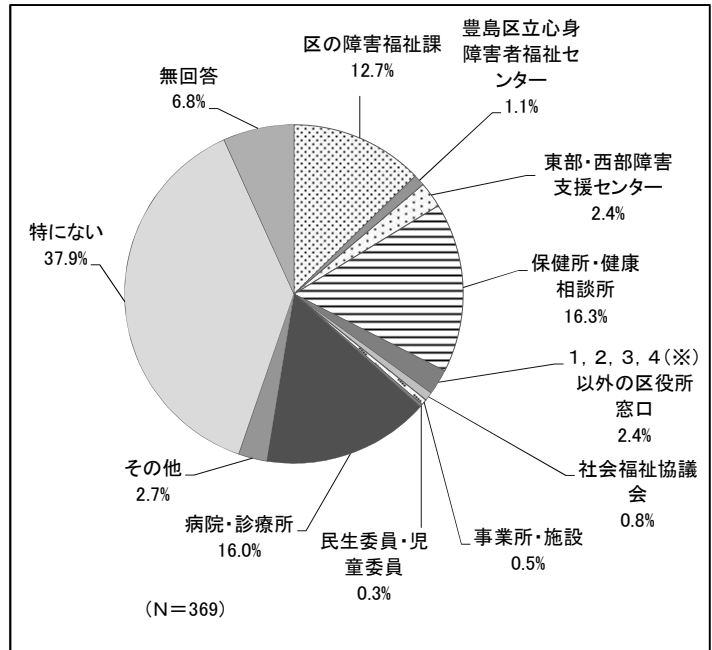
問 14 よく利用する相談窓口はどこですか。(〇は1つ)

「保健所・健康相談所」が 16.3%

「特にない」を除くと、よく利用する相談窓口は、「保健所・健康相談所」が 16.3%と最も多く、次いで「病院・診療所」が 16.0%となっています。

(※) 選択肢1は「区の障害福祉課」、選択肢2は「豊島区立心身障害者福祉センター」、選択肢3は「東部・西部障害支援センター」、選択肢4は「保健所・健康相談所」

※以下は回答者 0 人のため未掲載:
「学校」



(3) 相談対応の満足度

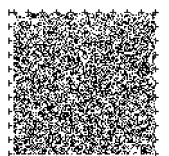
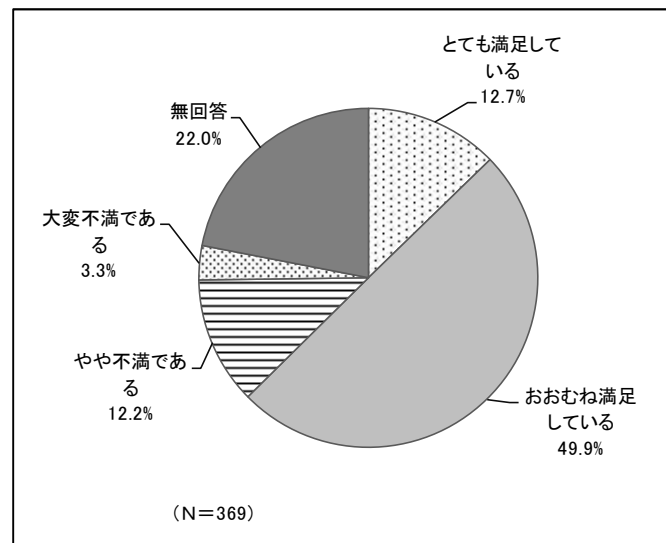
問 15 相談窓口について満足していますか。(〇は1つ)

《満足》が 62.6%、《不満》が 15.5%

相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が 49.9%と最も多く、次いで「とても満足している」が 12.7%となっています。

「とても満足している」が 12.7%、「おおむね満足している」が 49.9%、両者を合わせた《満足》は 62.6%となっています。一方、「やや不満である」が 12.2%、「大変不満である」が 3.3%であり、両者を合わせた《不満》は 15.5%となっています。

相談窓口別でみると、いずれも「おおむね満足している」が最も多くなっています。



【よく利用する相談窓口との関係】

相談窓口		満足度	回答者数	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	大変不満である	無回答
全体	人数		369	47	184	45	12	81
	構成比			12.7%	49.9%	12.2%	3.3%	22.0%
1 区の障害福祉課	人数		47	16	25	5	1	0
	構成比			34.0%	53.2%	10.6%	2.1%	0.0%
2 豊島区立心身障害者福祉センター	人数		4	2	2	0	0	0
	構成比			50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 東部・西部障害支援センター	人数		9	4	4	1	0	0
	構成比			44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
4 保健所・健康相談所	人数		60	10	45	5	0	0
	構成比			16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%
1, 2, 3, 4以外の区役所窓口	人数		9	0	8	1	0	0
	構成比			0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
社会福祉協議会	人数		3	0	2	0	0	1
	構成比			0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%
事業所・施設	人数		2	0	2	0	0	0
	構成比			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民生委員・児童委員	人数		1	0	0	0	0	1
	構成比			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
病院・診療所	人数		59	5	42	10	1	1
	構成比			8.5%	71.2%	16.9%	1.7%	1.7%
その他	人数		10	0	6	1	2	1
	構成比			0.0%	60.0%	10.0%	20.0%	10.0%
特になし	人数		140	5	37	22	8	68
	構成比			3.6%	26.4%	15.7%	5.7%	48.6%
無回答	人数		25	5	11	0	0	9
	構成比			20.0%	44.0%	0.0%	0.0%	36.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

(4) 不満を感じる理由

【問 15 で「やや不満である」「大変不満である」と回答したかたのみ】

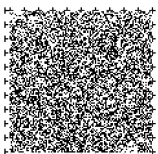
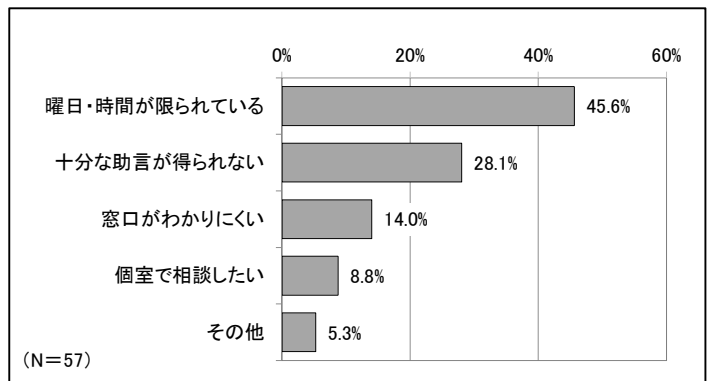
問 15-1 不満な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「曜日・時間が限られている」が 45.6%

相談対応に不満を感じる理由は、「曜日・時間が限られている」が 45.6%と最も多く、次いで「十分な助言が得られない」が 28.1%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「無回答」



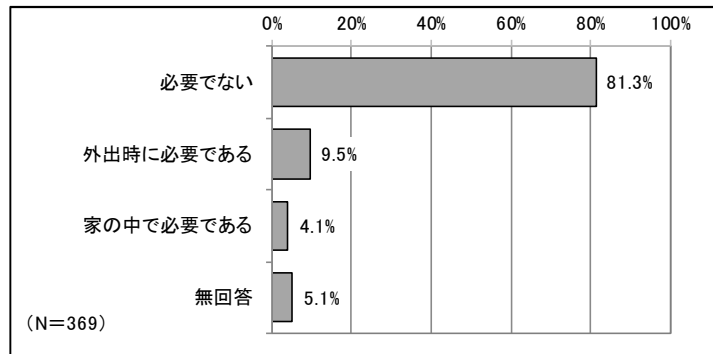
4 介助について

(1) 介助の必要性

問 16 あなたは、生活を送る上で、介助が必要ですか。(あてはまるものに○)

「必要でない」が 81.3%

介助の必要性は、「必要でない」が 81.3% と最も多く、次いで「外出時に必要である」が 9.5% となっています。



(2) 主な介助者

【問 16 で、「家の中で必要である」「外出時に必要である」と回答したかたのみ】

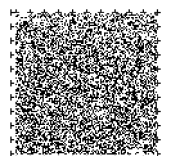
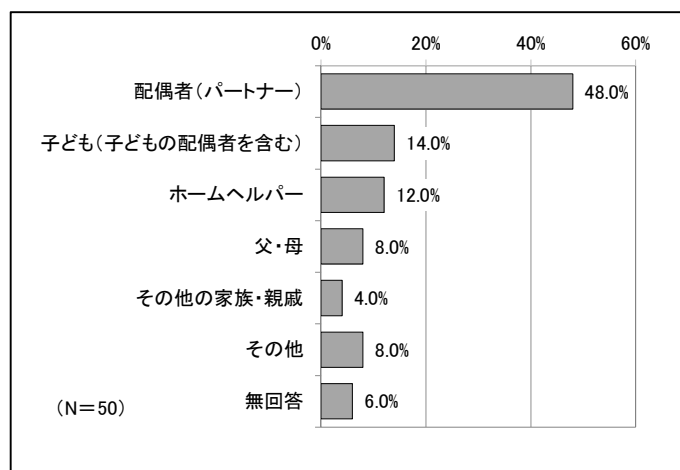
問 16-1 あなたをいちばん長い時間、介助しているかたはどなたですか。(○は1つ)

「配偶者 (パートナー)」が 48.0%

主な介助者は、「配偶者 (パートナー)」が 48.0% と最も多く、次いで「子ども (子どもの配偶者を含む)」が 14.0% となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「ボランティア」



(3) 主な介助者の年齢

【問 16-1 で、「配偶者(パートナー)」「父・母」「子ども(子どもの配偶者含む)」「その他の家族・親戚」と回答したかたのみ】

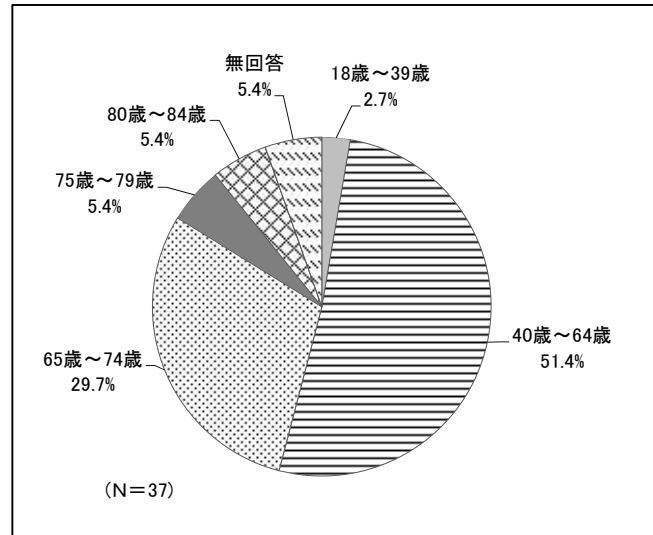
問 16-2 問 16-1 で介助しているかたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

「40歳～64歳」が51.4%

主な介助者の年齢は、「40歳～64歳」が51.4%と最も多く、次いで「65歳～74歳」が29.7%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

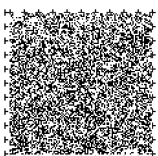
「18歳未満」、「85歳以上」



【年齢別 (参考)】

介助者		回答者数	障害者							無回答
			18歳未満	18歳～39歳	40歳～64歳	65歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	
全体	人数	37	0	1	19	11	2	2	0	2
	構成比		0.0%	2.7%	51.4%	29.7%	5.4%	5.4%	0.0%	5.4%
18～29歳	人数	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	人数	3	0	0	1	2	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	人数	2	0	0	0	1	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
50～59歳	人数	5	0	1	4	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	人数	14	0	0	9	4	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	64.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
70～79歳	人数	7	0	0	1	4	1	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
80歳以上	人数	5	0	0	3	0	1	1	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



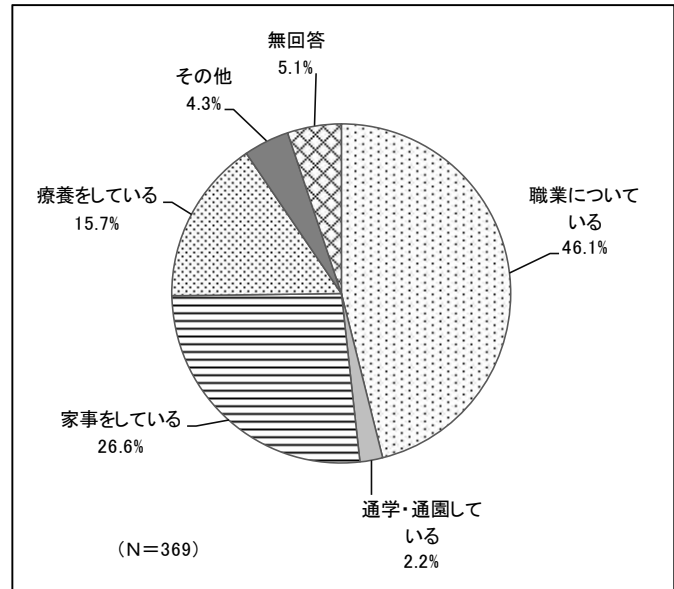
5 日常生活の状況や就労状況

(1) 日常生活の状況

問 17 あなたは、日常生活を主にどのようにおすごしですか。(〇は1つ)

「職業についている」が 46.1%

日常生活の状況は、「職業についている」が 46.1%と最も多く、次いで「家事をしている」が 26.6%となっています。



(2) 現在の就労の形態

【問 17 で、「職業についている」と回答したかたのみ】

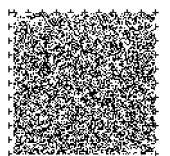
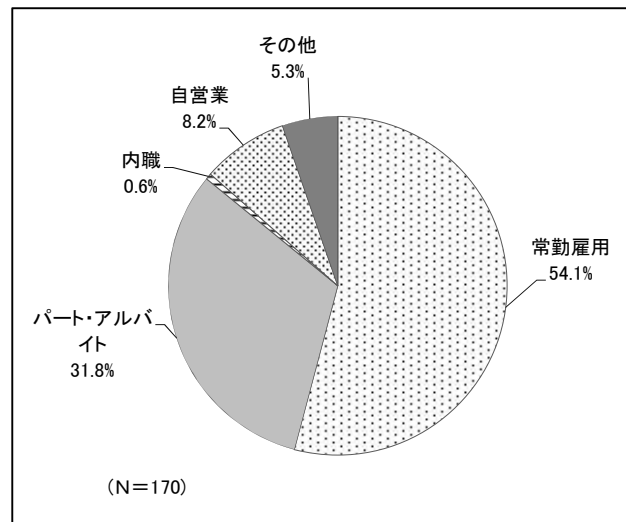
問 17-1 どのように働いていますか。(〇は1つ)

「常勤雇用」が 54.1%

現在の就労の形態は、「常勤雇用」が 54.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 31.8%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「無回答」



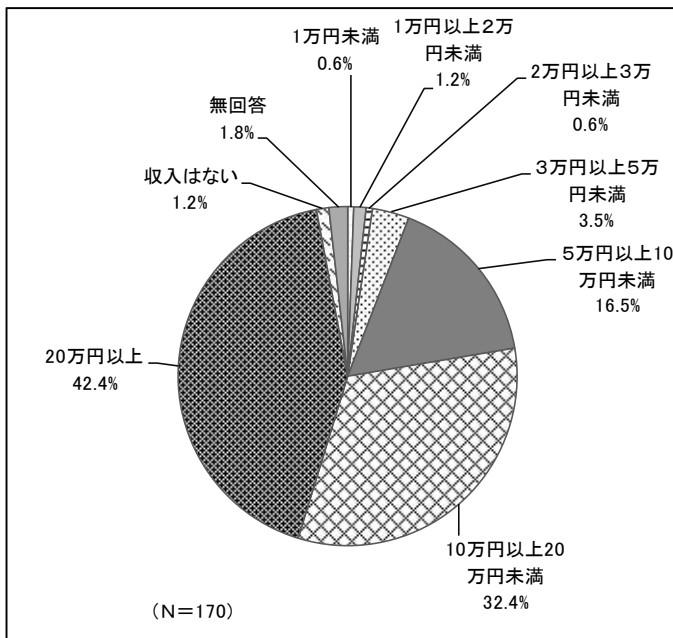
(3) 現在の月収

【問 17 で、「職業についている」と回答したかたのみ】

問 17-2 仕事・作業で得る 1 か月の収入はおおよそどれくらいですか。(○は1つ)

「20 万円以上」が 42.4%

今、仕事・作業をしているかたの現在の月収は、「20 万円以上」が 42.4%と最も多く、次いで「10 万円以上 20 万円未満」が 32.4%となっています。



(4) 現在の仕事・作業を見つけた方法

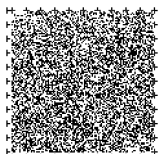
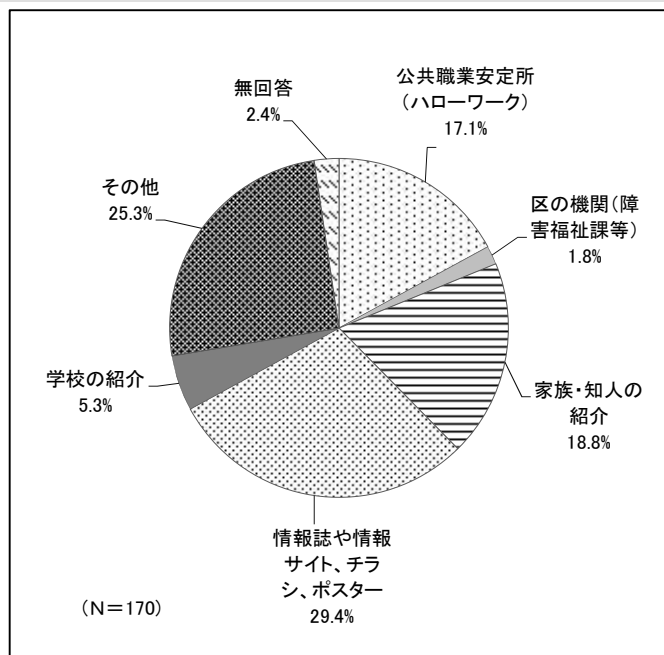
【問 17 で、「職業についている」と回答したかたのみ】

問 17-3 今の仕事・作業は、どのような方法で見つけましたか。(○は1つ)

「情報誌や情報サイト、チラシ、ポスター」が 29.4%

今、仕事・作業をしているかたの現在の仕事・作業を見つけた方法は、「情報誌や情報サイト、チラシ、ポスター」が 29.4%と最も多く、次いで「家族・知人の紹介」が 18.8%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「難病相談・支援センター」



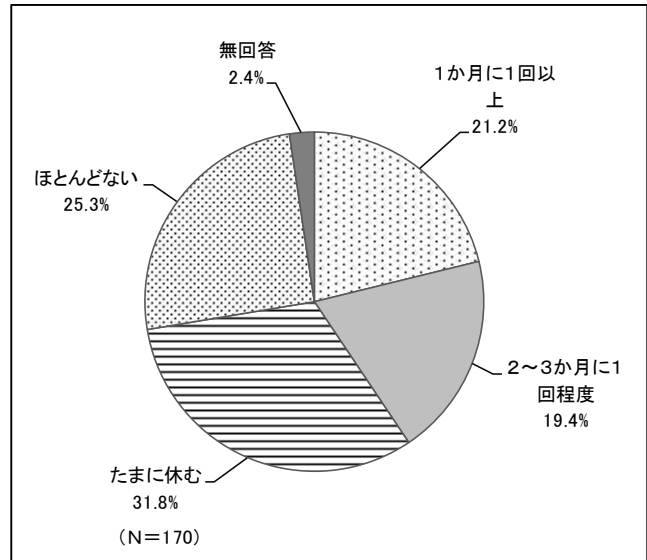
(5) 仕事を休む頻度

【問 17 で、「職業についている」と回答したかたのみ】

問 17-4 通院や体調不良で仕事を休むことはありますか。(○は1つ)

「たまに休む」が 31.8%

今、仕事・作業をしているかたが、通院や体調不良で仕事を休む頻度は、「たまに休む」が 31.8%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 25.3%となっています。



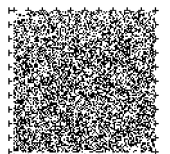
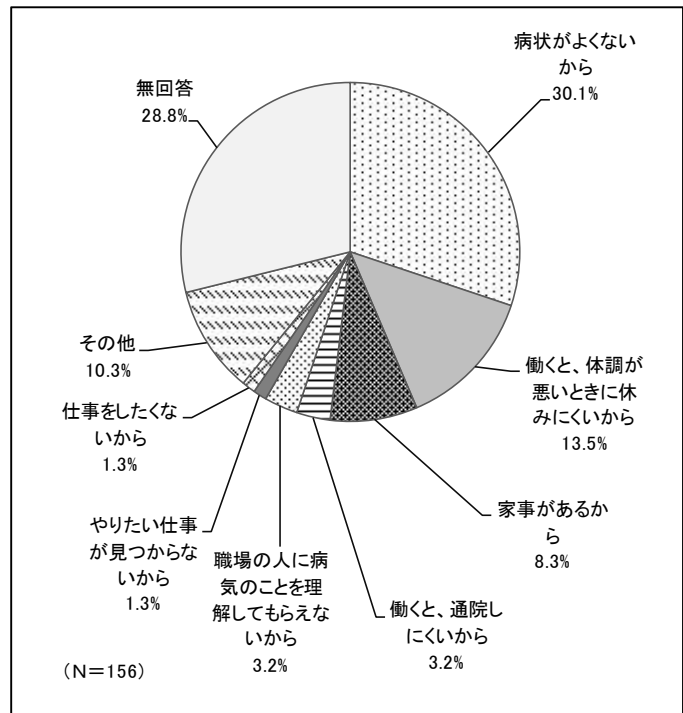
(6) 現在、仕事・作業をしていない理由

【問 17 で、「家事をしている」「療養をしている」と回答したかたのみ】

問 18 働いていない理由は何ですか。(○は1つ)

「病状がよくないから」が 30.1%

仕事・作業をしていないかたのその主な理由は、「病状がよくないから」が 30.1%と最も多く、次いで「働くと、体調が悪いときに休みにくいから」が 13.5%となっています。



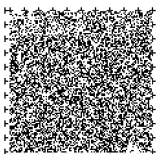
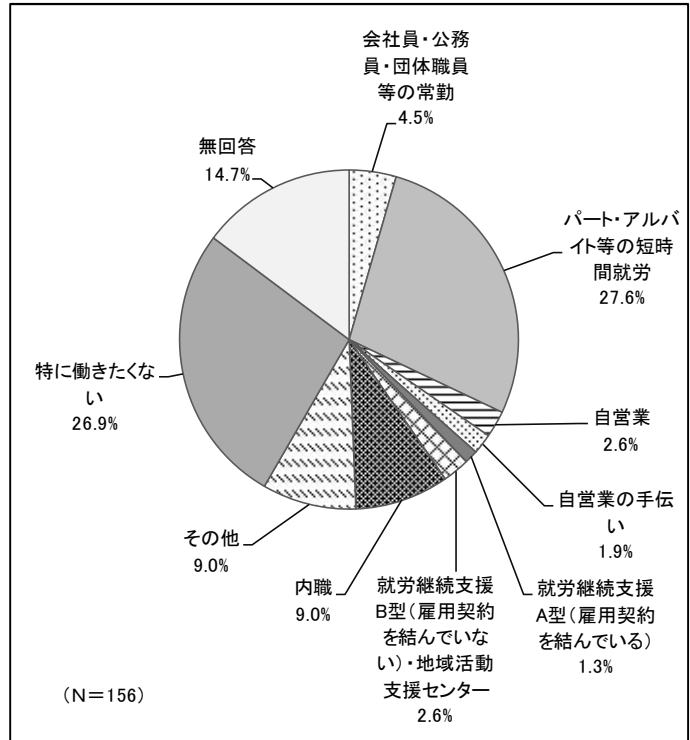
(7) 今後希望する就労の形態

【問 17 で、「家事をしている」「療養をしている」と回答したかたのみ】

問 18-1 あなたは、働く場合、どのような仕事・作業をしたいですか。(○は1つ)

「パート・アルバイト等の短時間就労」が 27.6%

今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたいかたの希望する就労の形態は、「パート・アルバイト等の短時間就労」が 27.6%と最も多く、次いで「特に働きたくない」が 26.9%となっています。



6 サービスの利用や今後の利用

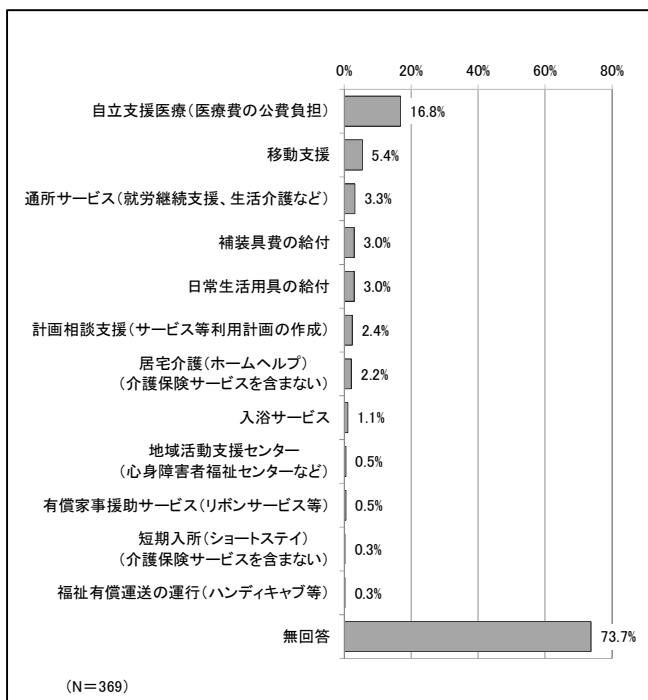
(1) サービスの利用状況

問 19 あなたは現在利用しているサービス、今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)また、感じていることを自由意見欄にご記入ください。

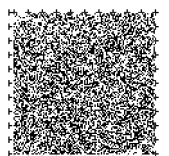
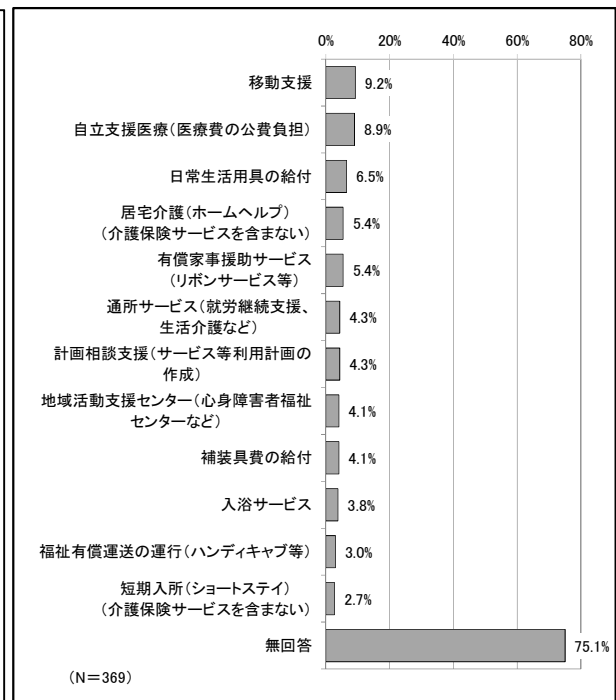
「現在利用しているサービス」は、「自立支援医療（医療費の公費負担）」が 16.8%

「今後利用したいサービス」は、「移動支援」が 9.2%

【現在利用しているサービス】



【今後利用したいサービス】



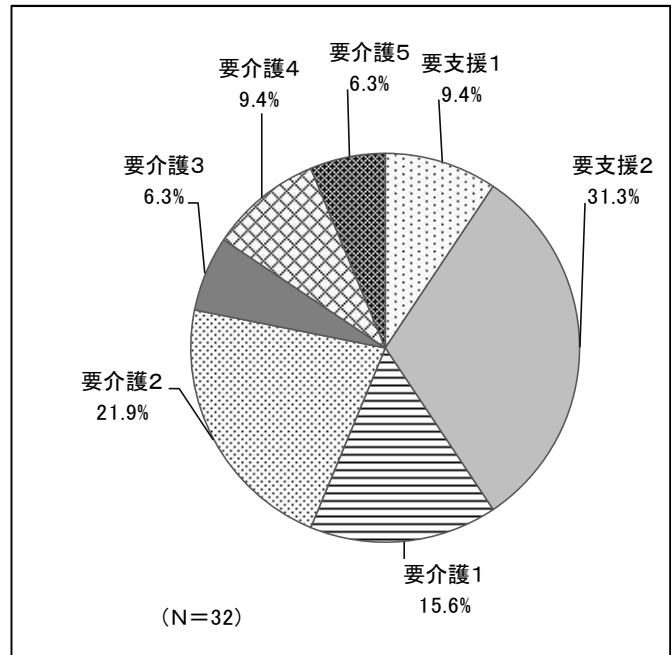
(2) 介護保険の認定の状況

問 20 介護保険の認定を受けているかたは要介護状態区分を教えてください。(○は1つ)

「要支援2」が31.3%

介護保険の認定の状況は、「要支援2」が31.3%と最も多く、次いで「要介護2」が21.9%となっています。

※母数は無回答を除いたもの



(3) 利用している介護保険サービス

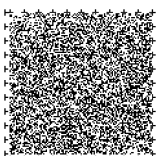
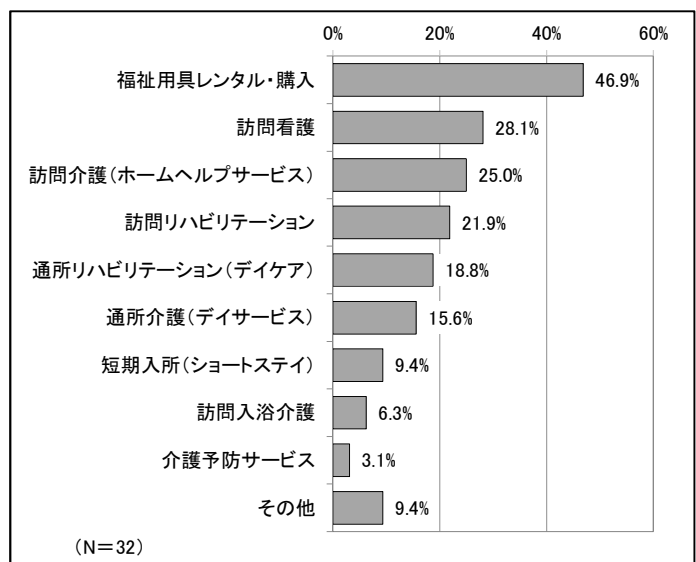
問 21 介護保険サービスを利用しているかたはその内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「福祉用具レンタル・購入」が46.9%

利用している介護保険サービスは、「福祉用具レンタル・購入」が46.9%と最も多く、次いで「訪問看護」が28.1%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「無回答」



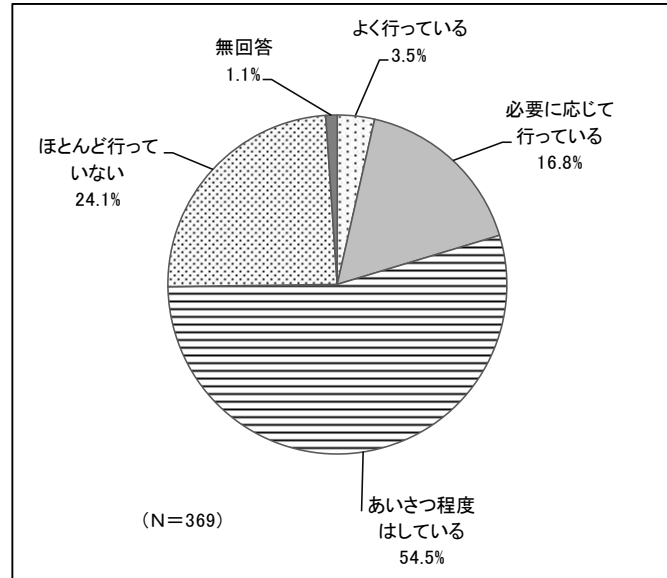
7 社会参加等

(1) 近所つき合い

問 22 ご近所とおつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「あいさつ程度はしている」が 54.5%

近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が 54.5%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が 24.1%となっています。

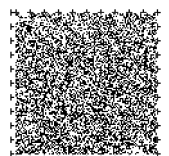
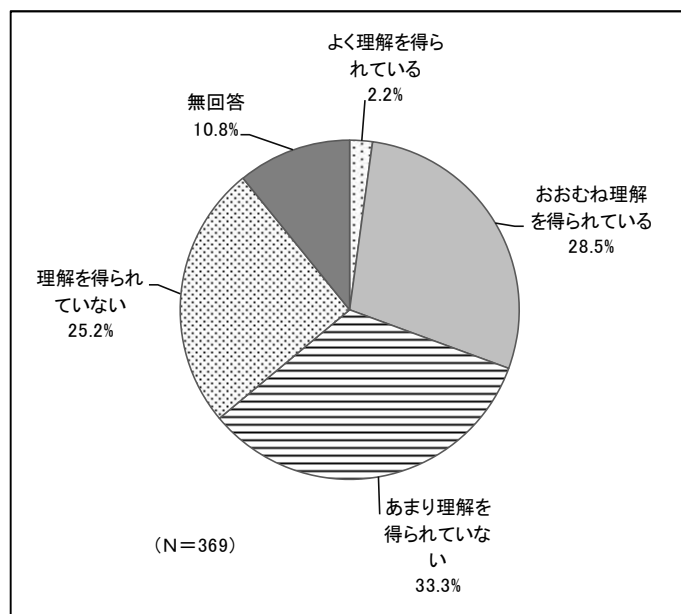


(2) 地域のかたがたの障害・疾病に対する理解

問 23 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。(○は1つ)

《理解を得られている》が 30.7%、《理解を得られていない》が 58.5%

地域のかたがたの障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」が 2.2%、「おおむね理解を得られている」が 28.5%で両者を合わせた《理解を得られている》は 30.7%となっています。一方、「理解を得られていない」は 25.2%、「あまり理解を得られていない」は 33.3%、両者を合わせた《理解を得られていない》は 58.5%となっています。

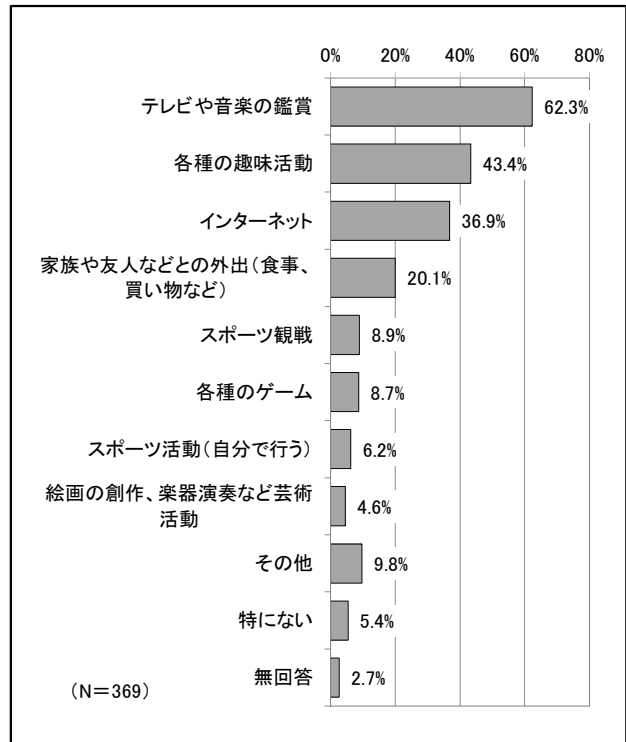


(3) 現在楽しんでいる余暇活動

問 24 あなたが今楽しんでいる余暇活動は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

「テレビや音楽の鑑賞」が 62.3%

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビや音楽の鑑賞」が 62.3%と最も多く、次いで「各種の趣味活動」が 43.4%となっています。

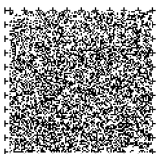
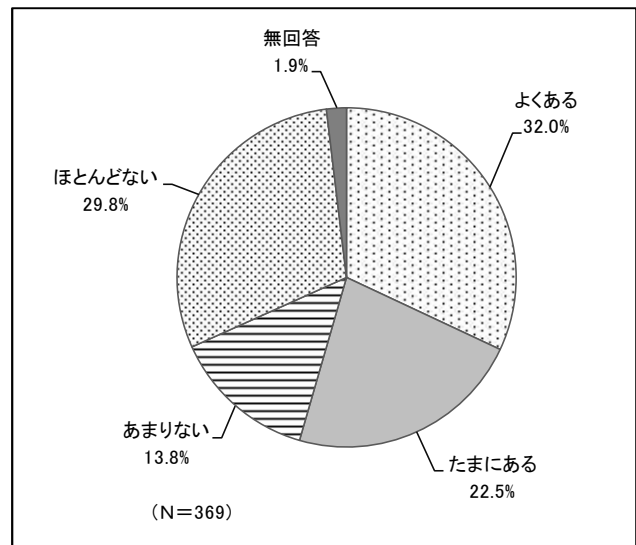


(4) 障害のない人との交流

問 25 「家族」「施設職員」「職場の人」以外で、障害のない人と交流する(「会話をする」「一緒に何か活動を行う」等)ことはありますか。(○は1つ)

「よくある」が 32.0%

障害のない人との交流は、「よくある」が 32.0%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 29.8%となっています。

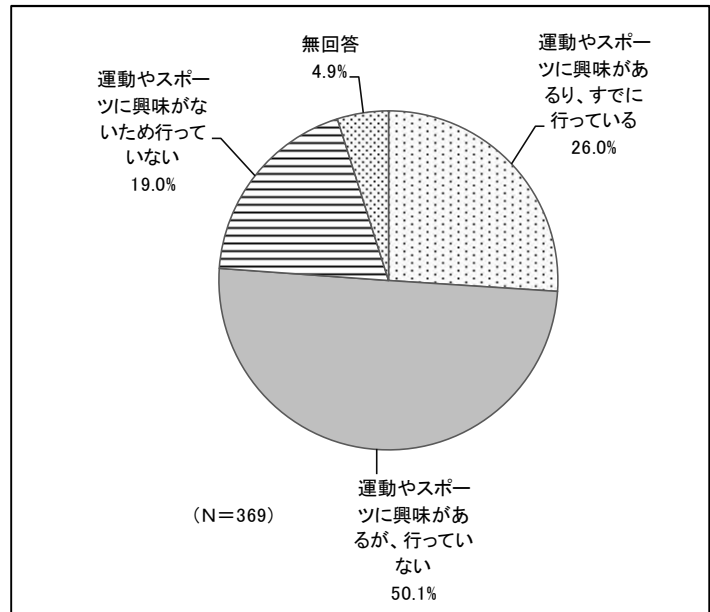


(5) 運動やスポーツへの活動意向と現況

問 26 運動やスポーツを行いたいと思いますか、また、行っていますか。(○は1つ)

「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が 50.1%

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が 50.1%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」が 26.0%となっています。



(6) 運動やスポーツの実施頻度

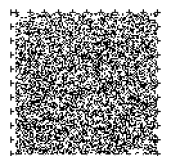
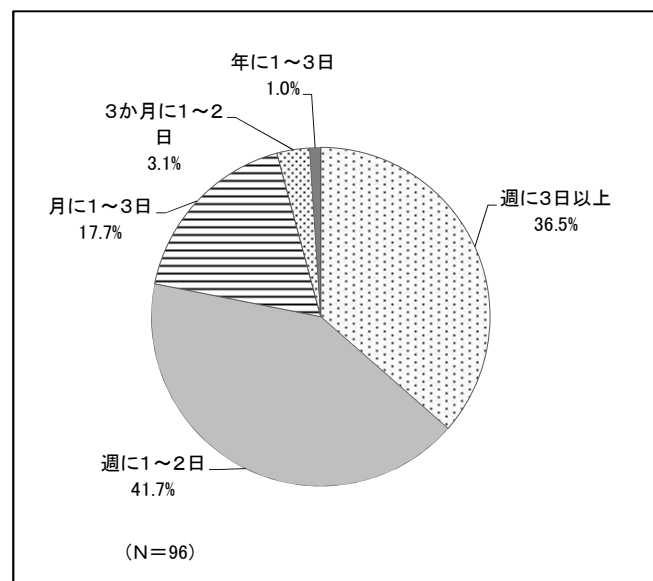
【問 26 で、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」と回答したかたのみ】

問 26-1 運動やスポーツをどのくらいの頻度で実施していますか。(○は1つ)

「週に1～2日」が 41.7%

運動やスポーツを行っているかたの実施頻度は、「週に1～2日」が 41.7%と最も多く、次いで「週に3日以上」が 36.5%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「無回答」

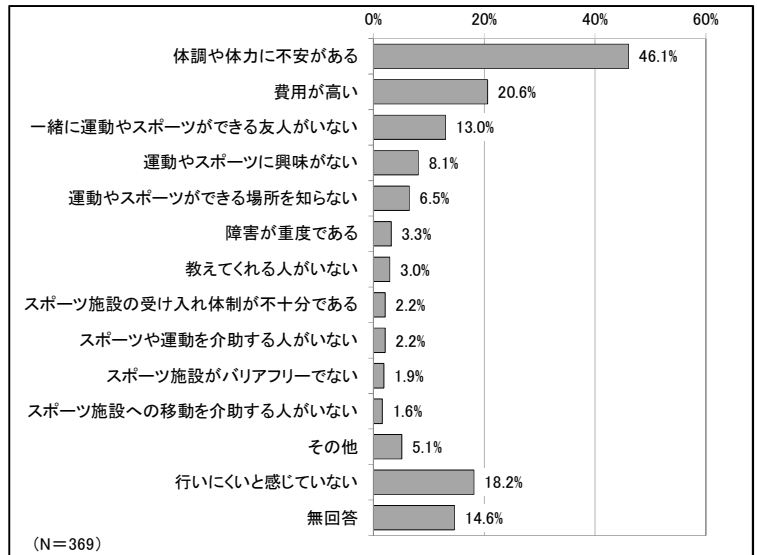


(7) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること

問 27 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感ずることはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

「体調や体力に不安がある」が 46.1%

運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が 46.1%と最も多く、次いで「費用が高い」が 20.6%となっています。



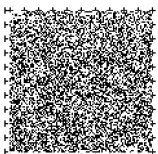
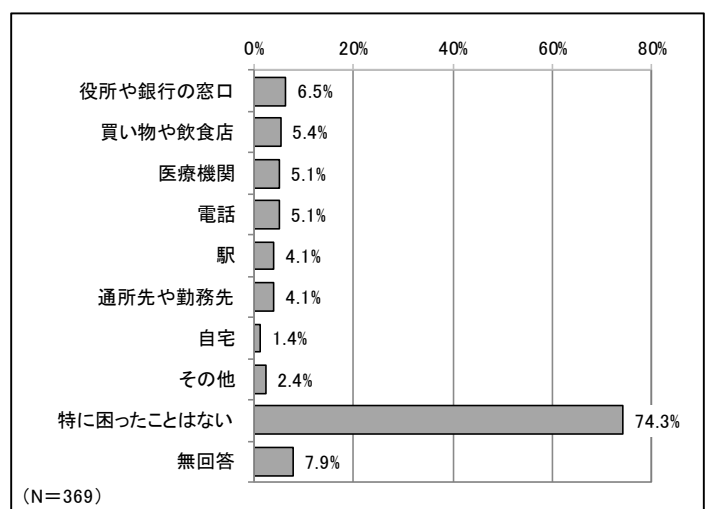
8 意思疎通の状況

(1) コミュニケーションに困った場所・場面

問 28 この1年間に、コミュニケーションに困った場所や場面はどこでしたか。(あてはまるものすべてに○)

「役所や銀行の窓口」が 6.5%

コミュニケーションに困った場所・場面は、「特に困ったことはない」を除くと、「役所や銀行の窓口」が 6.5%となっています。



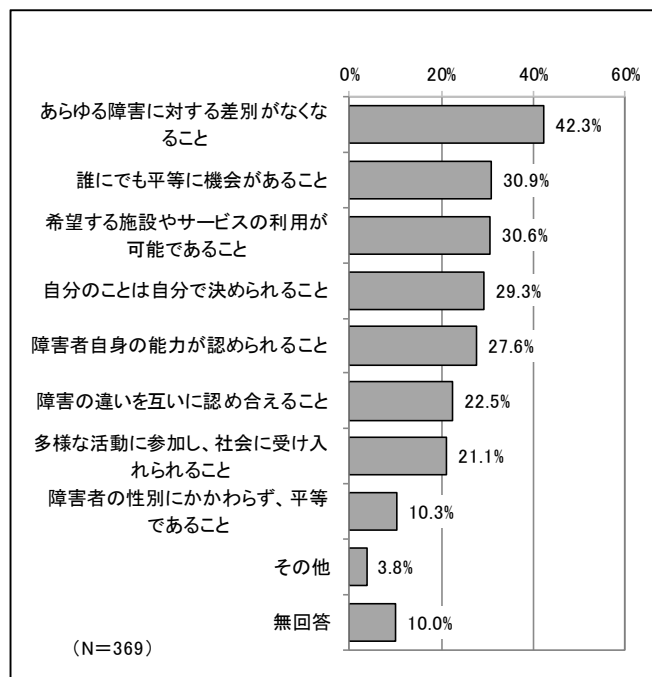
9 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

問 29 平成 18 年(2006 年)に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。(あてはまるもの3つまで)

「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 42.3%

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 42.3%と最も多く、次いで「誰にでも平等に機会があること」が 30.9%となっています。



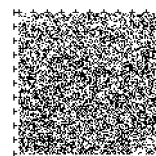
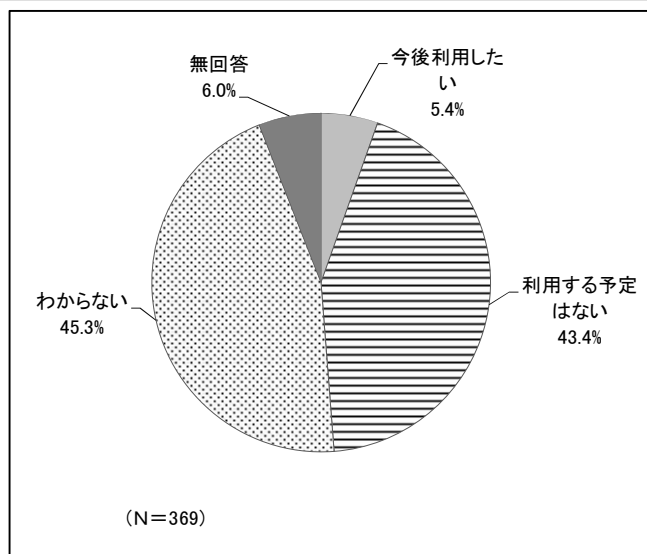
(2) 成年後見制度の利用意向

問 30 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。(○は1つ)

「わからない」が 45.3%

成年後見制度の利用意向は、「わからない」が 45.3%と最も多く、次いで「利用する予定はない」が 43.4%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「利用している」

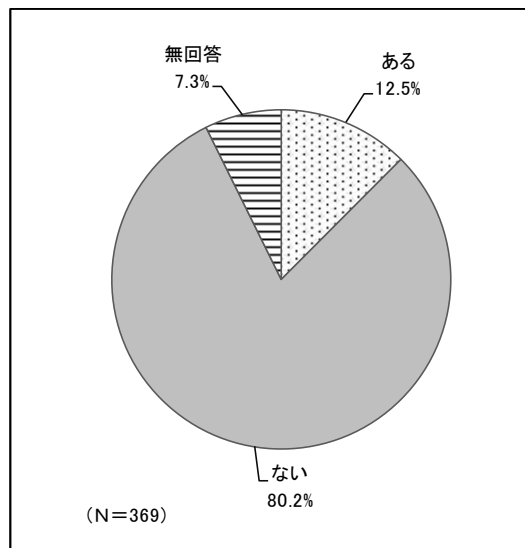


(3) 虐待を受けた経験

問 31 あなたは、いままでに自分の身体や心を傷つけられた(虐待された)ことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 12.5%

虐待を受けた経験は、「ない」が 80.2%、「ある」が 12.5%となっています。



(4) 受けたことがある虐待の内容

【問 31 で、「ある」と回答したかたのみ】

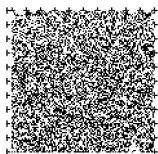
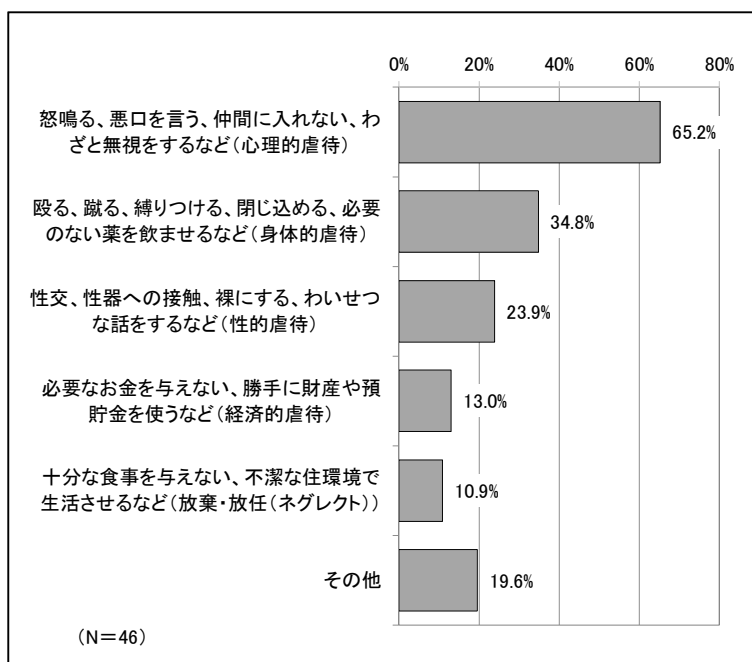
問 31-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど(心理的虐待)」が 65.2%

虐待を受けたことがあるかたの虐待の内容は、「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど(心理的虐待)」が 65.2%と最も多く、次いで「殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、必要のない薬を飲ませるなど(身体的虐待)」が 34.8%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「無回答」



(5) 受けたことがある虐待の相手

【問 31 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 31-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

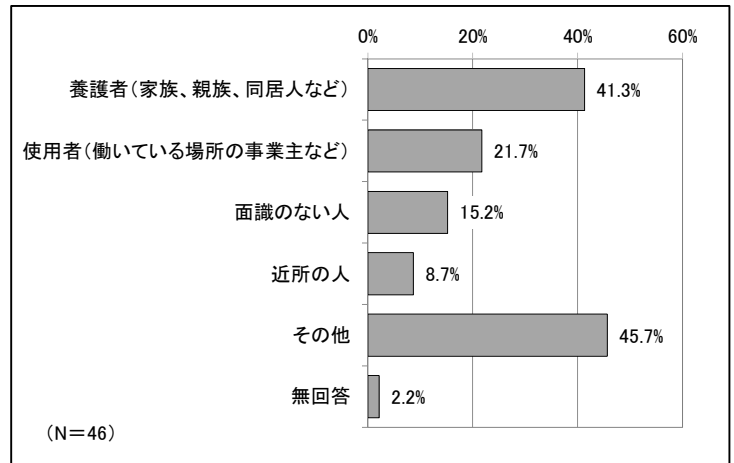
「養護者（家族、親族、同居人など）」が 41.3%

受けたことがある虐待の相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」が 41.3%と最も多く、次いで「使用者（働いている場所の事業主など）」が 21.7%となっています。

「その他」としては、職場の同僚、同級生という回答がありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：

「障害者福祉施設従事者など(通っている施設や事業所の職員など)」



(6) 虐待について相談した相手

【問 31 で、「ある」と回答したかたのみ】

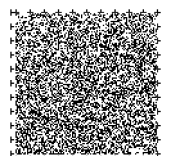
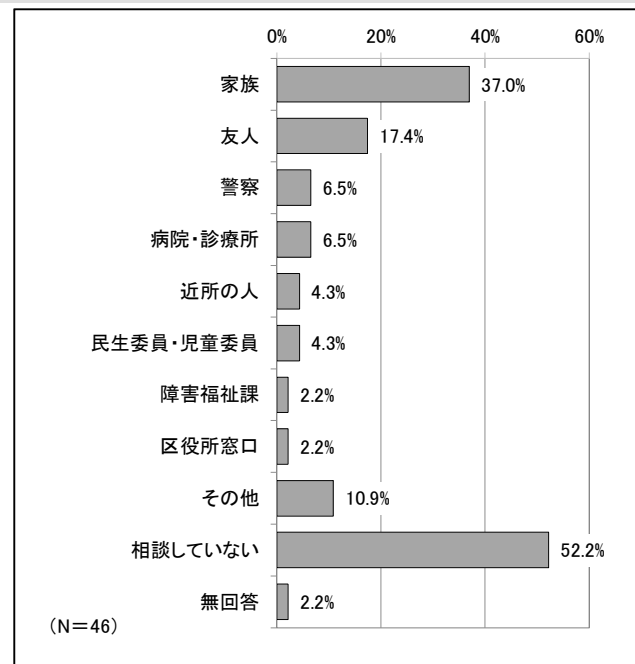
問 31-3 虐待を受けた時、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「相談していない」が 52.2%

「相談していない」が 52.2%と最も多く、次いで、「家族」が 37.0%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：

「障害者虐待防止センター(豊島区)」、「障害者相談員」、「普段利用している施設や事業所」

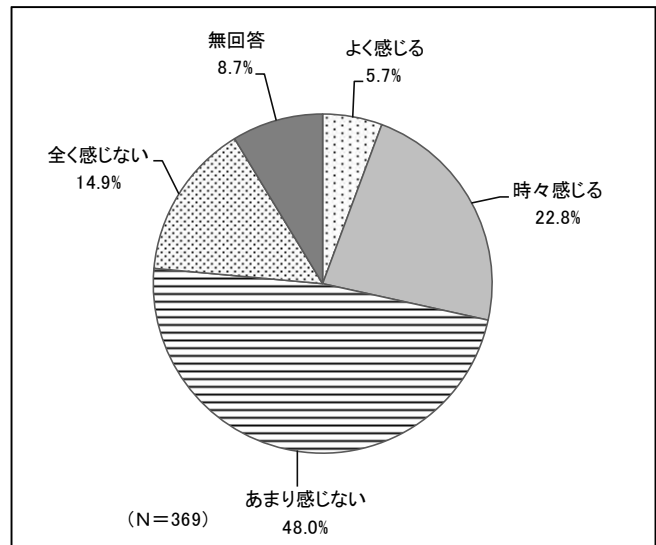


(7) 障害者への差別を感じること

問 32 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が施行されましたが、障害者への差別を感じることはありますか。(○は1つ)

《感じる》は 28.5%、《感じない》は 62.9%

障害者への差別を「よく感じる」は 5.7%、「時々感じる」は 22.8%、両者を合わせた《感じる》は 28.5%となっています。一方、「あまり感じない」は 48.0%、「全く感じない」は 14.9%、両者を合わせた《感じない》は 62.9%となっています。



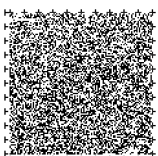
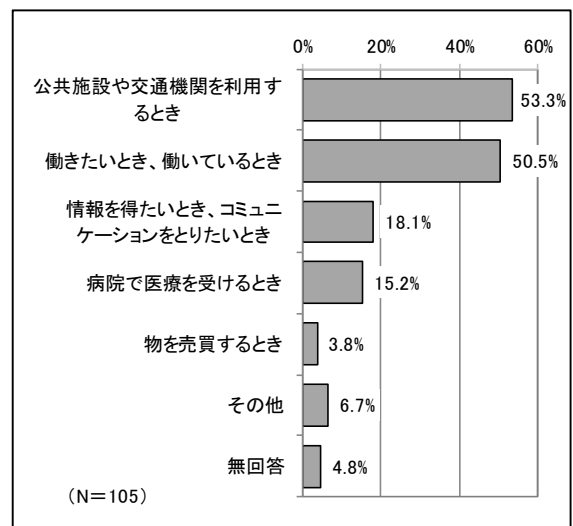
(8) 差別を感じるとき

【問 32 で、「よく感じる」「時々感じる」と回答したかたのみ】

問 32-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで○)

「公共施設や交通機関を利用するとき」が 53.3%

障害者に対する差別を感じると回答したかたがどのようなときに差別を感じるかでは、「公共施設や交通機関を利用するとき」が 53.3%と最も多く、次いで「働きたいとき、働いているとき」が 50.5%となっています。

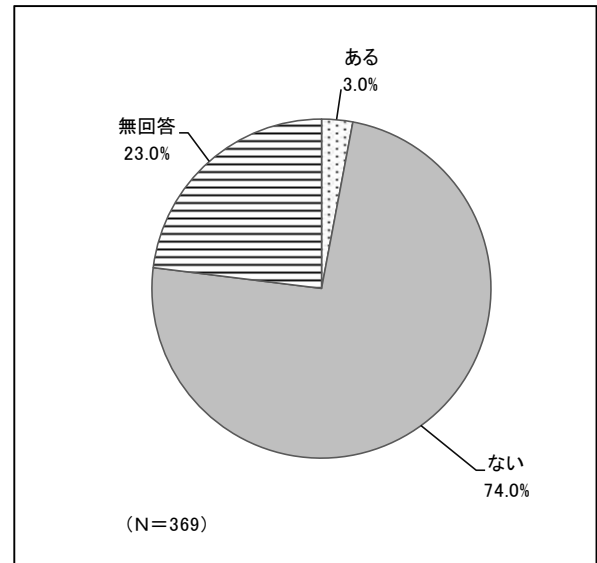


(9) 差別の相談経験

問 33 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

「ある」が 3.0%

差別の相談経験は、「ない」が 74.0%、「ある」が 3.0%となっています。



(10) 差別についての相談先

【問 33 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 33-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

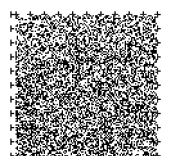
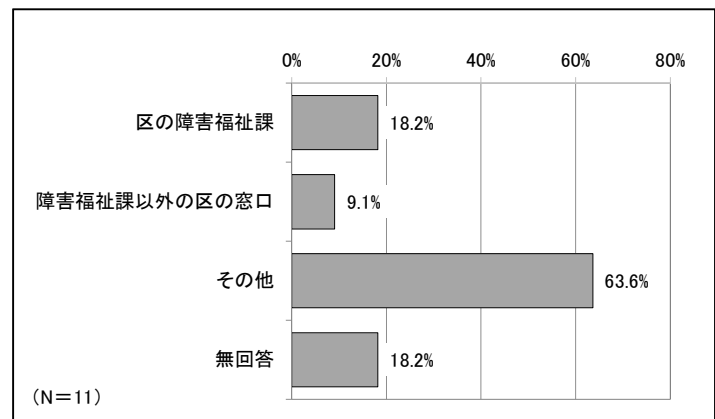
「区の障害福祉課」が 18.2%

差別の相談経験をしたことがあるかたの相談先は、「区の障害福祉課」が 18.2%と最も多く、次いで「障害福祉課以外の区の窓口」が 9.1%となっています。

「その他」としては、家族という回答が多くなっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「国(内閣府)の窓口」、「東京都の窓口」



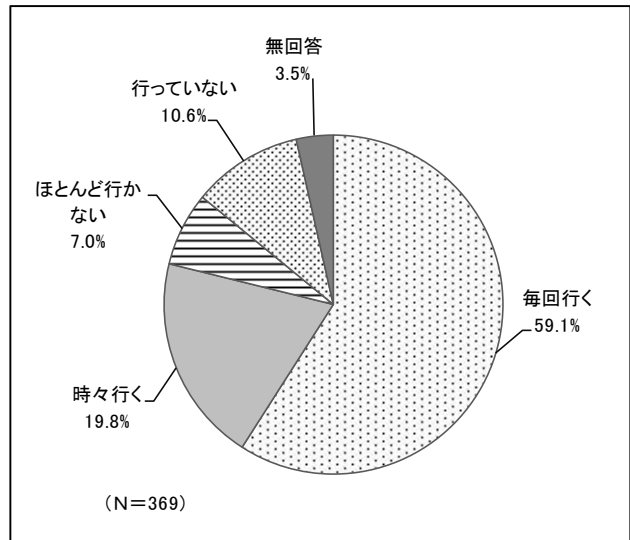
(11) 選挙への参加状況

問 34 あなたは選挙に行っていますか。(○は1つ)

《行く》は 78.9%

選挙への参加状況は、「毎回行く」が59.1%と最も多く、次いで「時々行く」が19.8%となっています。

「毎回行く」が59.1%、「時々行く」が19.8%、両者を合わせた《行く》は78.9%となっています。一方、「ほとんど行かない」が7.0%、「行っていない」が10.6%であり、両者を合わせた《行かない》は17.6%となっています。



(12) 選挙に行かない理由

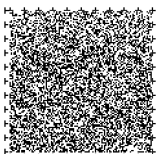
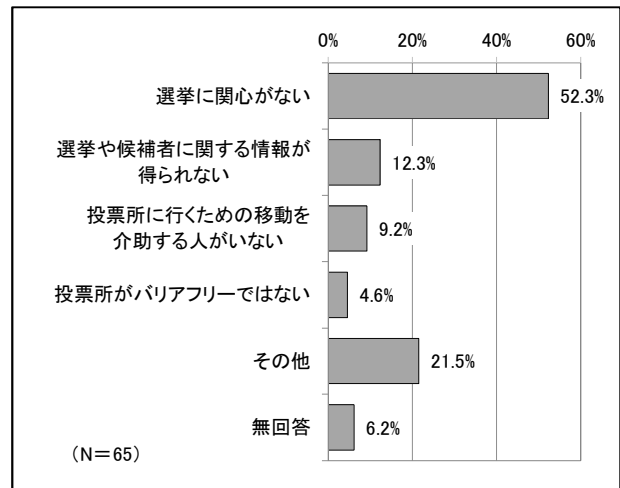
【問 34 で、「ほとんど行かない」「行っていない」と回答したかたのみ】

問 34-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「選挙に関心がない」が 52.3%

選挙に行かないかたの理由は、「選挙に関心がない」が52.3%と最も多く、次いで「選挙や候補者に関する情報が得られない」が12.3%となっています。

「その他」としては、外国籍だから、体調が悪いからという回答がありました。



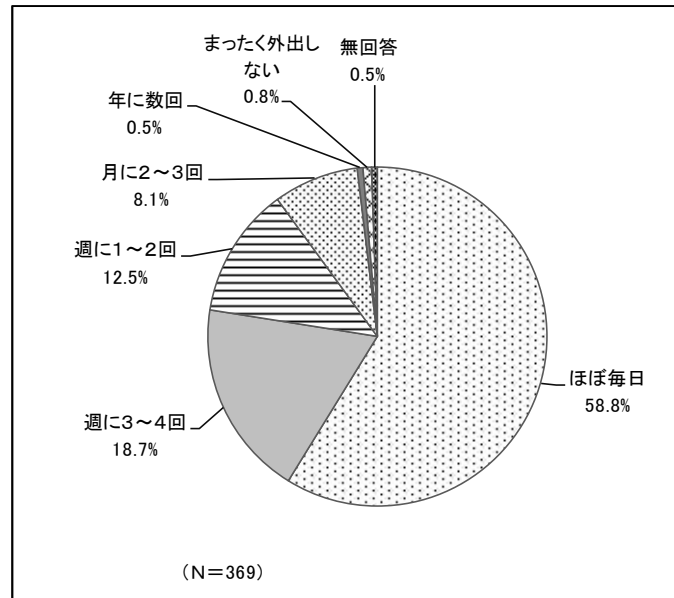
10 外出の状況

(1) 外出の頻度

問 35 通院を含め、外出の頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

「ほぼ毎日」が 58.8%

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が 58.8%と最も多く、次いで「週に3～4回」が 18.7%となっています。



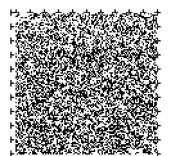
(2) 外出しない理由

【問 35 で、「まったく出かけない」と回答したかたのみ】

問 35-1 外出しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

「まったく出かけない」というかたは3人でした。

「外出しない理由」は、「症状・障害が重いため」が3人、「興味がないため」、「外に出たくないため」が各1人ずつです。



(3) よく利用する外出手段

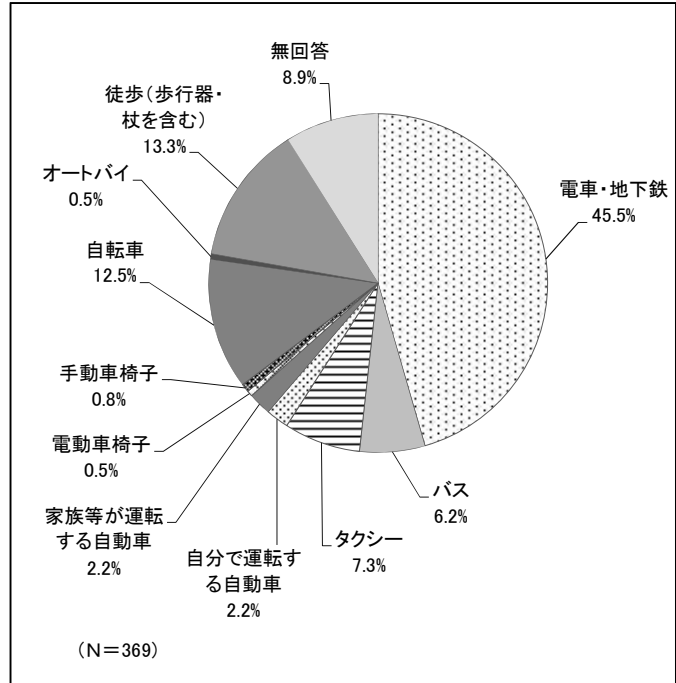
問 36 あなたがもっともよく利用する外出の方法は何ですか。(○は1つ)

「電車・地下鉄」が 45.5%

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が 45.5%と最も多く、次いで「徒歩(歩行器・杖を含む)」が 13.3%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「バギー」

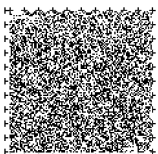
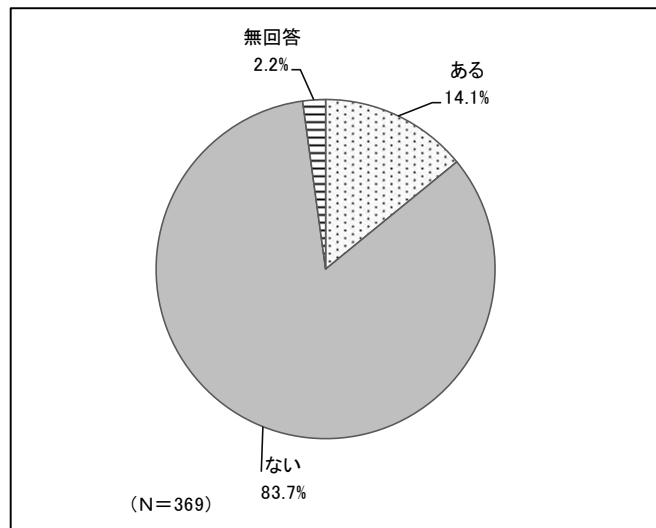


(4) 外出時にけがをした経験

問 37 外出時に、この1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 14.1%

外出時にけがをした経験は、「ない」が 83.7%、「ある」が 14.1%となっています。



(5) 外出時にけがをした理由

【問 37 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 37-1 「けが」をした理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

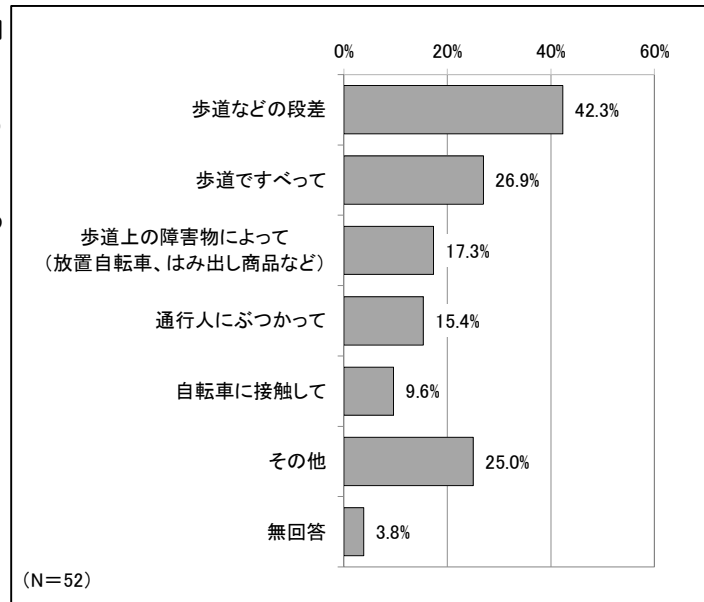
「歩道などの段差」が 42.3%

外出時にけがをしたことがあるかたの理由は、「歩道などの段差」が 42.3%と最も多く、次いで「歩道ですべって」が 26.9%となっています。

「その他」としては、「突然記憶がなくなつて」という回答がありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「自動車・バイクに接触して」

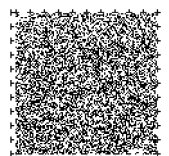
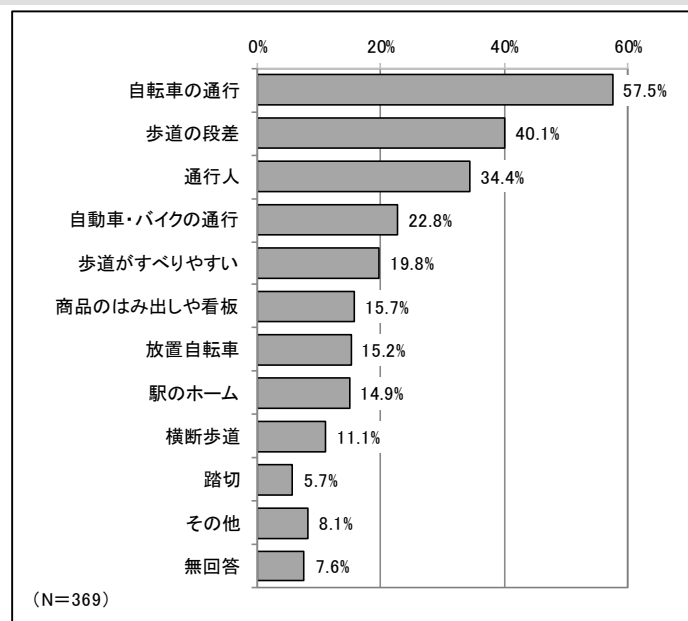


(6) 外出時に危険を感じたこと

問 38 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自転車の通行」が 57.5%

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が 57.5%と最も多く、次いで「歩道の段差」が 40.1%となっています。

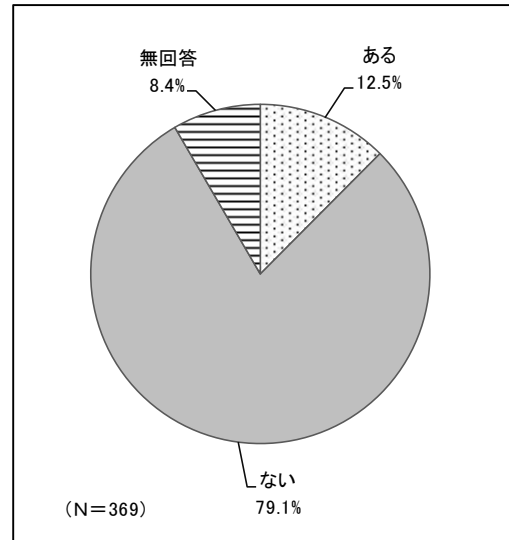


(7) 自宅内でけがをした経験

問 39 自宅内で、この1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 12.5%

自宅内でけがをした経験は、「ない」が 79.1%、「ある」が 12.5%となっています。



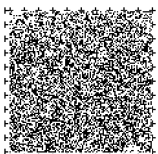
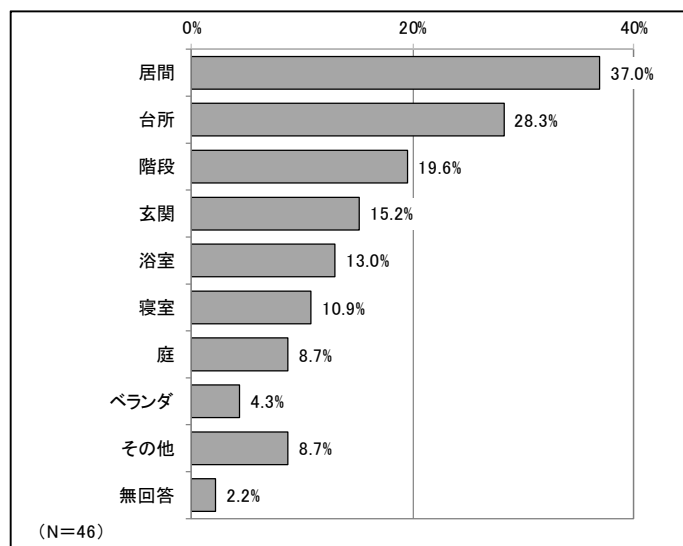
(8) けがをした自宅内の場所

【問 39 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 39-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「居間」が 37.0%

自宅内でけがをしたことがあるかたの自宅内の場所は、「居間」が 37.0%と最も多く、次いで「台所」が 28.3%となっています。

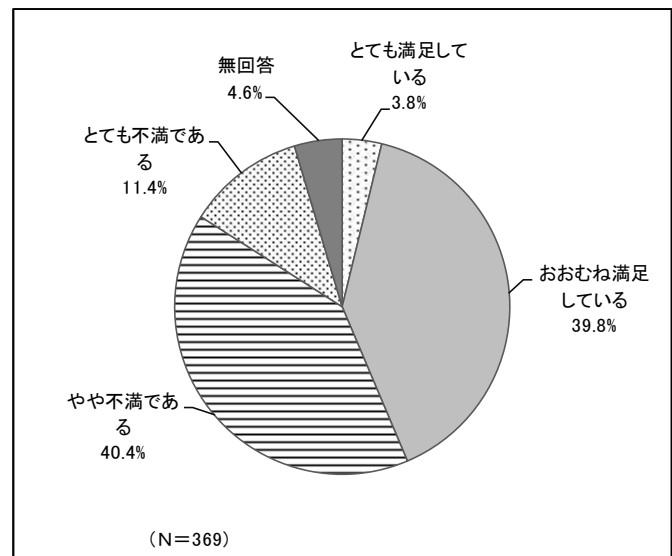


(9) まちのバリアフリーについての満足度

問 40 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

《満足》は 43.6%、《不満》は 51.8%

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が 3.8%、「おおむね満足している」は 39.8%、両者を合わせた《満足》は 43.6%となっています。一方、「やや不満である」は 40.4%、「とても不満である」は 11.4%、両者をあわせた《不満》は 51.8%となっています。



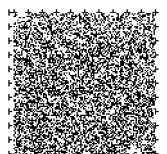
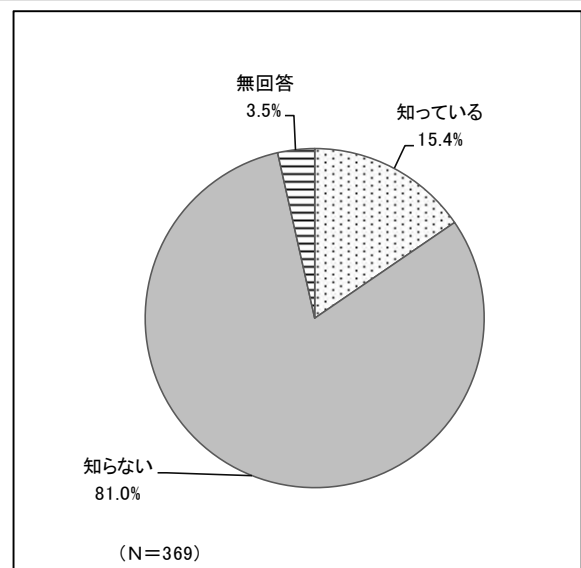
11 防災の意識・対策

(1) 豊島区障害者防災の手引きの認知度

問 41 あなたは、「豊島区障害者防災の手引き」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が 81.0%

豊島区障害者防災の手引きの認知度は、「知らない」が 81.0%、「知っている」が 15.4%となっています。

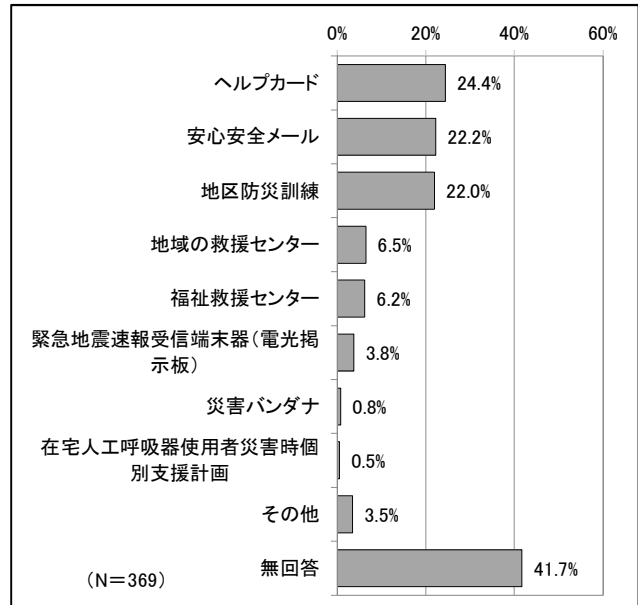


(2) 区の防災対策の認知度

問 42 豊島区が行っている防災対策で、あなたが知っていること、場所は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「ヘルプカード」が24.4%

区の防災対策の認知度は、「ヘルプカード」が24.4%と最も多く、次いで「安心安全メール」が22.2%となっています。

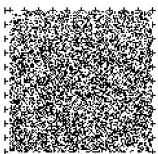
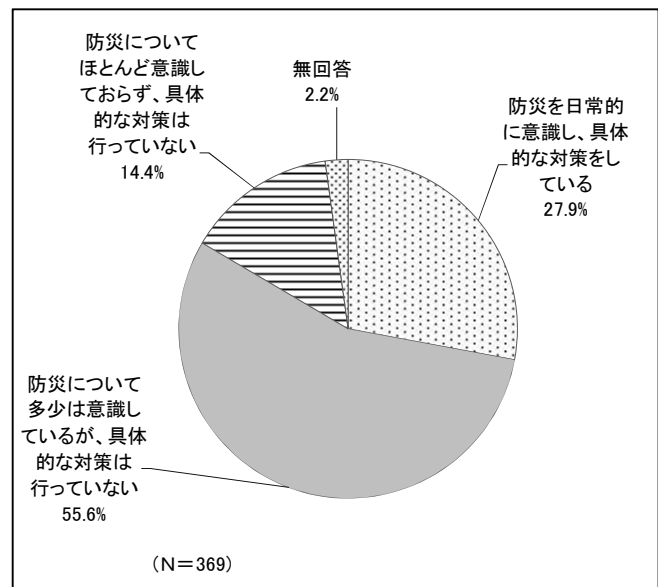


(3) 日常的な防災意識と防災対策の実施状況

問 43 あなたは日常的に防災を意識し、何か対策をしていますか。(○は1つ)

「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が55.6%

日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が55.6%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策をしている」が27.9%となっています。



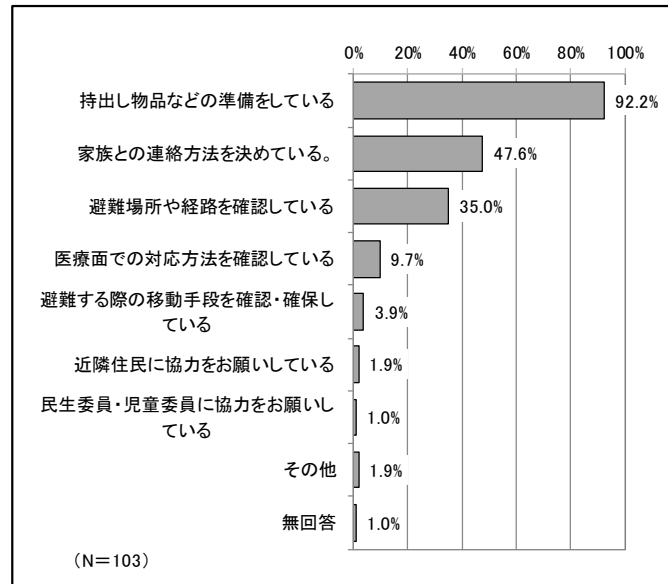
(4) 具体的に行っている準備

【問 43 で「防災を日常的に意識し、具体的な対策をしている」と回答したかたのみ】

問 43-1 災害時を想定し、あなたは具体的にどのような準備をしていますか。(〇はいくつでも)

「持出し物品などの準備をしている」が 92.2%

具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が 92.2%と最も多く、次いで「家族との連絡方法を決めている。」が 47.6%となっています。



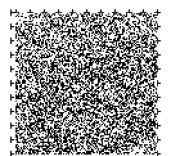
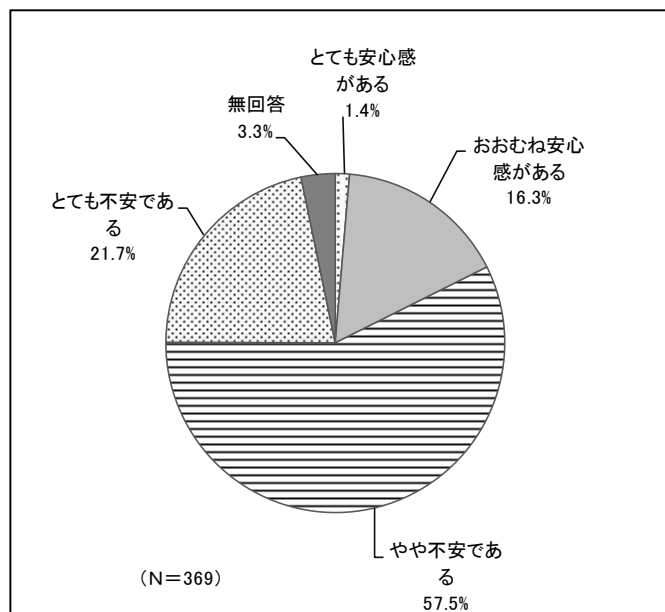
(5) 災害時を想定した対応方法に対する安心感の有無

問 44 あなたは災害時を想定した対応方法について、安心感がありますか。(〇は1つ)

《不安》が 79.2%、《安心》が 17.7%

災害時を想定した対応方法に対する安心感は、「やや不安である」が 57.5%と最も多く、次いで「とても不安である」が 21.7%となっています。

「やや不安である」と「とても不安である」を合わせた《不安》は 79.2%となっています。一方、「とても安心感がある」が 1.4%、「おおむね安心感がある」が 16.3%であり、両者を合わせた《安心》は 17.7%となっています。

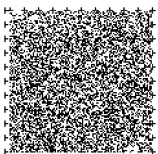
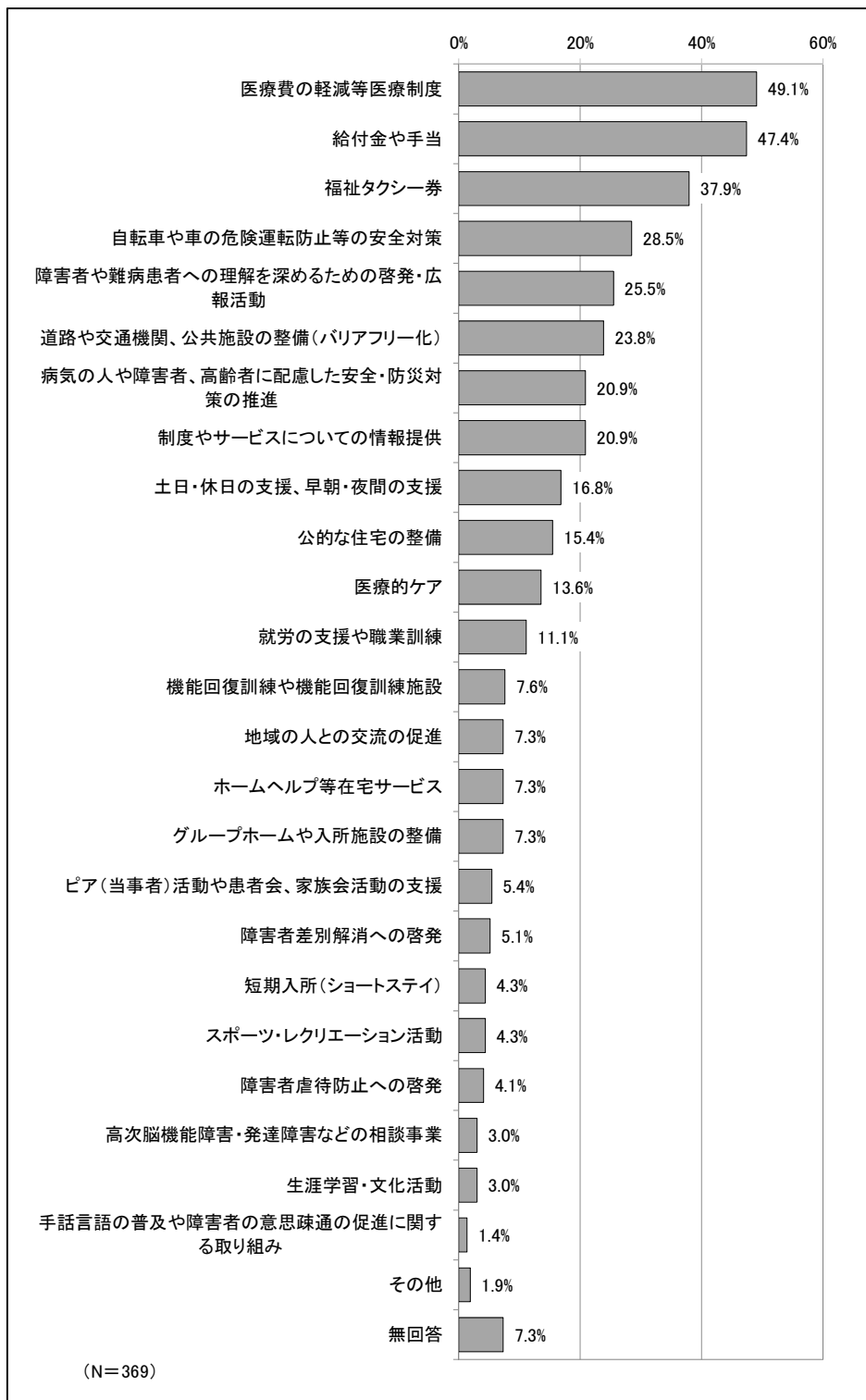


12 豊島区の今後のありかたについて

問 45 豊島区の地域での取り組みで重要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの5つまで○)

「医療費の軽減等医療制度」が 49.1%

取り組みで重要だと思うことは、「医療費の軽減等医療制度」が 49.1%と最も多く、次いで「給付金や手当」が 47.4%となっています。



VII 障害児調査

